全口センサー搭載
Siセンサーコンロ

Takara standard

タカラシステムキッチン用

温度調節機能付
グリル排気口遮炎装置付

ガスこんろ

取扱説明書

T33A60
T33AV60

家庭用 保証書付
ガス機器防火性能評定品

このたびはタカラシステムキッチン用ガスこんろをお求めいただきまして、ありがとうございます。

- ●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- ●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- ●取扱説明書を紛失された場合は当社フリーダイヤルまでお問い合わせください。

すべての方にもっと安心して、もっと便利に、もっと笑顔で料理を楽しんでいただくために、ガスコンロが進化しました。安心（Safety）、便利（Support）、笑顔（Smile）を約束する、賢い（intelligent）温度センサーをすべてのコンロに搭載した進化したスマートなコンロ「Siセンサーコンロ」です。

もくじ

タカラスタンダード株式会社

各部のなまえ

奥コンロ（小バーナ）
温度センサー（奥コンロ）
ごとく（奥コンロ）
温度センサー（左コンロ）
左コンロ（強火力バーナ）
ごとく（左コンロ）
トッププレート
火力調節つまみ（奥コンロ）
火力調節つまみ（左コンロ）
操作ボタン（左コンロ）
電池交換サイン
電池ケース
操作ボタン（奥コンロ）
グリル水入れ皿
グリル扉
グリル取っ手

グリル排気口
右コンロ（標準バーナ）
温度センサー（右コンロ）
ごとく（右コンロ）
火力調節つまみ（グリル）
火力調節つまみ（右コンロ）
操作ボタン（右コンロ）
操作部（2ページ参照）
グリル点火確認ランプ
操作ボタン（グリル）
焼　網

バーナ部の拡大図

※イラストは左右コンロを示しています。
炎検出部の位置は左右コンロと奥コンロでは異なります。

操作部周辺の拡大図

操作部

揚げもの表示ランプ

揚げもの機能設定時に点灯します。

炊飯表示ランプ

炊飯機能設定時に点灯します。

取り消しスイッチ

機能選択モード（「揚げもの」「炊飯」「湯沸かし」）を取り消したいときに使用します。

高温炒め表示ランプ

高温炒め設定時に点灯します。

湯沸表示ランプ

湯沸かし機能設定時に点灯します。

コンロタイマー表示ランプ

コンロタイマー設定時に点灯します。

表示部

グリルタイマー・コンロタイマーの時間を表示します。
また、エラー発生時にエラーコードや発生部位コードを表示します。
※グリル使用時はグリルタイマー表示が最優先されます。

高温炒めスイッチ

強火力バーナの高温炒め機能を設定します。

左コンロ
200
180(℃)
160
炊飯
湯沸
右コンロ
3秒押し
高温炒め
揚げもの
炊飯/湯沸
取り消し
左コンロ
奥コンロ
右コンロ
タイマー選択
分

「−」「+」スイッチ

グリルタイマー・コンロタイマーの時間を設定できます。

揚げものスイッチ

揚げもの機能を設定することができます。天ぷらやフライなどの揚げものをするときに、油の温度を160℃、170℃、180℃、190℃、200℃のいずれかに保つように設定することができます。

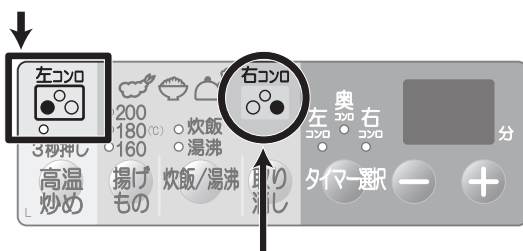
炊飯／湯沸スイッチ

炊飯機能または湯沸かし機能のいずれかを設定することができます。
＊「炊飯」を選択すると上手にご飯を炊くことができます。
＊「湯沸」を選択すると、お湯が沸騰後自動的に弱火になり、5分後自動消火します。

タイマー選択スイッチ

コンロタイマーを設定するコンロを選択・取り消しします。

知っておいてね

＊「高温炒め機能」が使用できるコンロの位置を示しています。

＊「機能選択モード（揚げもの・炊飯・湯沸）」が使用できるコンロの位置を示しています。

特　長

コンロ部の主な特長

■省エネルギー高効率コンロバーナ
（すべてのコンロ）
従来のコンロに比べ、受け皿がなく、お手入れしやすいバーナです。また、熱効率が大幅に向上していますのでガス代を節約できます。

■立消え安全装置（すべてのコンロ）
風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。

■天ぷら油過熱防止機能（すべてのコンロ）
調理油の過熱を防止するために、温度センサーが消火温度になると自動的にガスを止め消火します。

■消し忘れ消火機能（すべてのコンロ）
万一の消し忘れのために、点火後、コンロは約120分で自動消火します。

カスタマイズ機能（25ページ）
→自動消火するまでの時間を10分～90分（10分間隔）に変更することもできます。

■焦げつき消火機能（すべてのコンロ）
煮物などの調理時になべ底が焦げつきはじめると自動的にガスを止め消火します。（なべの材質、調理物の種類、火力によって焦げの程度は異なります。）

■コンロタイマー機能（すべてのコンロ）
いずれか1ケ所のコンロで1～99分まで設定できます。設定した時間が経過すると自動消火し、ブザーでお知らせします。

カスタマイズ機能（25ページ）
→お知らせ音をブザー音からメロディに変更することもできます。

■異常過熱防止機能（早切れ防止機能）
（標準バーナ・強火力バーナのみ）
炒めもの調理・焼きもの調理など比較的温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火⇔強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止します。この状態が約30分続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。

カスタマイズ機能（25ページ）
→高温での調理が続いた場合、約30分で自動消火する設定を約15分に変更することもできます。

■高温炒め機能　（強火力バーナのみ）
煎りもの料理など高温が必要な調理の場合には、高温炒め機能（17ページ）をご使用ください。
高温炒め機能をご使用時も異常過熱防止機能がはたらき、高温になり過ぎたときや、約30分を過ぎたときは自動消火します。

■機能選択モード（標準バーナのみ）
標準バーナには「揚げもの」「炊飯」「湯沸かし」調理時に自動的に火加減したり、消火することのできる機能選択モードが付いています。

◎揚げもの温度調節機能
天ぷらなどの揚げもの調理をするときに、油の温度を5段階（160～200℃）のいずれかに一定に保ちます。

◎炊飯機能
自動的に炊飯し、炊きあがり後に自動消火します。その後、むらしのために15分間表示ランプ「炊飯」が点滅します。

◎湯沸かし機能
沸騰後、自動的に弱火になり、その後5分間保温し、自動消火します。

カスタマイズ機能（25ページ）
→5分間の保温をしないように変更することもできます。
（沸騰後、自動的に消火します。）

グリル部の主な特長

■立消え安全装置

炎が消えたときに自動的にガスを止めます。

■消し忘れ消火機能

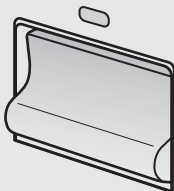
万一の消し忘れのために、グリルは約22分で自動消火します。

■フレームトラップ【グリル排気口遮炎装置】

万一グリル庫内で炎が上がっても、フレームトラップがグリル排気口より炎があふれ出すのを抑制し、火災を未然に防ぎます。

■グリルタイマー機能

設定した時間が経過するとグリルを自動消火し、ブザーでお知らせします。

カスタマイズ機能（25ページ）
→お知らせ音をブザー音からメロディに変更することもできます。

※操作ボタン戻し忘れのお知らせについて

湯沸かし機能、炊飯機能、コンロタイマー機能、グリルタイマー機能が作動し自動消火した場合や、安全装置が働き自動消火した場合は、操作ボタンを押し戻して消火操作をしてください。
そのまま操作ボタンを戻し忘れると、1分毎に "ピー・ピー・ピー” と3回ブザーが鳴りお知らせします。

安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について次のような意味があります。

禁止

火気禁止

分解禁止

注意

発火注意

必ず行う

換気必要

⚠危険

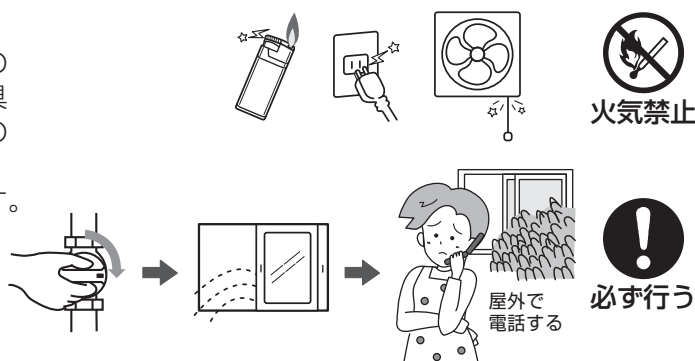
■ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しないでください。炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火気禁止

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。

屋外で電話する

必ず行う

⚠警告

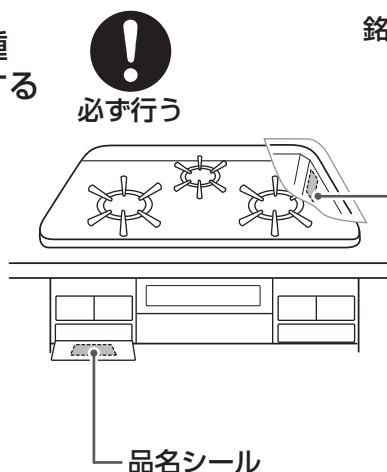
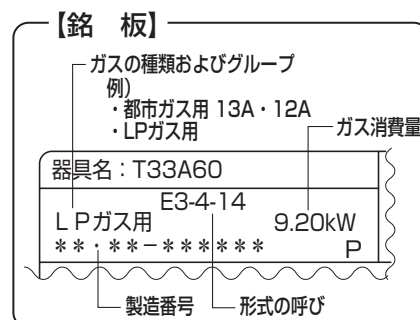
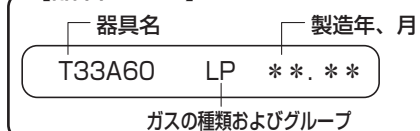
■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）の適合を確認する

必ず行う

表示のガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガス種が一致しているか確認してください。

＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）までご連絡ください。

＊機器前面の電池ケースふたを開けると品名シールが貼ってあります。機器のガス種（ガスグループ）を確認することができます。

銘板　銘板は機器内部の右側面に貼り付けしてあります。グリル排気口ごしにご確認ください。

品名シールは電池ケースふたの内側に貼り付けしてあります。電池ケースふたを開けてご確認ください。

■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は不完全燃焼による一酸化炭素中毒やガス漏れなどの思わぬ事故や故障、火災の原因になります。

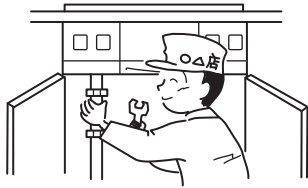
分解禁止

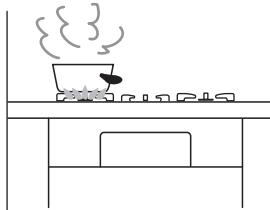
⚠警告

■機器の設置（付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

■ねじ接続

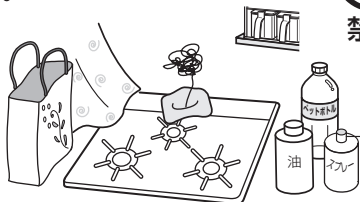
この機器のガス接続工事は専門の資格・技術が必要です。お買い上げの販売店に依頼してください。

■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。グリルを消し忘れると調理中のものに火がつくことがありますので注意してください。

禁止

■機器の上や周囲には可燃物や引火物を置かない、近づけない

ペットボトル、調理油などは火災の原因になります。また、スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどは、熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

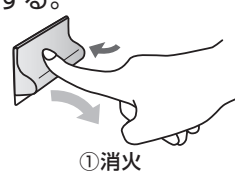
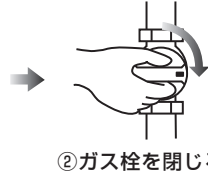
■グリル排気口の上にタオル、ふきん、なべなどをのせたり、アルミはくでふさがない

不完全燃焼や火災の原因になります。

禁止

■異常時・緊急時の処置

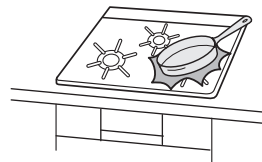
①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音を感じた場合、使用途中で消火した場合、地震、火災など緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

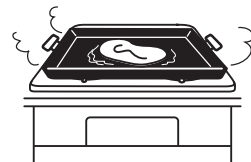
②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。

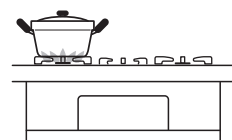
③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで連絡する。

■点火操作、消火操作をしたときは必ず炎を確認する

就寝、外出時は機器のガス栓も閉じてください。

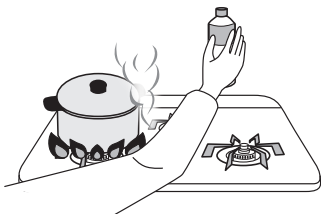
■トッププレートに衝撃を加えない トッププレートの上にのらない

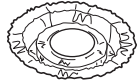
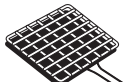
トッププレートが破損し、異常過熱や火災の原因になります。破損した場合は、すぐに修理を依頼してください。

■コンロを覆うような大きな鉄板類やなべは使わない

不完全燃焼や機器の異常過熱、ごとくの変形、トッププレートの損傷の原因になります。

■機器の周囲では引火のおそれのあるものを使用しない

スプレー、ガソリン、ベンジンなどは、引火して火災のおそれがあります。

⚠警告

■コンロ使用中は身体や衣服を炎に近付けない

衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。
また、温度センサーが作動して炎が自動的に大きくなったり、風で炎があおられてなべ底からあふれ、衣服に移ることがありますので注意してください。
特にコンロの奥に手をのばすときは注意してください。

■市販の補助具を使用しない

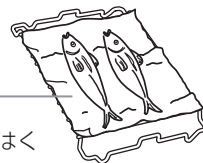
市販の補助具（省エネ性をうたった補助具、市販のアルミはく製しる受け皿、焼網など）を使用しないでください。一酸化炭素中毒や、異常燃焼、点火不良のおそれがあります。
また、温度センサーがはたらき消火したり、トッププレートやごとくの変色、変形の原因にもなります。

■グリルを使用する時は、グリル水入れ皿に必ず所定の水量の水を入れ、使用中は常に水のある状態を保つ。グリル使用後は必ずお手入れする

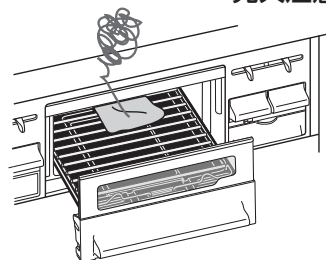
グリル水入れ皿にたまった脂や、調理物が燃えて火災のおそれがあります。

■当社の純正部品を使用する

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。
それ以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■脂の出る料理には、焼網の上や下にアルミはくを敷かない

アルミはくの上に脂がたまり、発火する原因になります。

■グリル庫内に食品くずやふきんがないようにする。またグリル扉にはさんだまま使用しない

使用中に燃えることがあります。
使用前に庫内を点検してください。
＊取り除く際はケガをしないように注意してください。

■グリル水入れ皿に水以外のものは入れない

機器の損傷や、たまった脂が過熱され燃えて火災の原因になります。また、グリル水入れ皿が異常に過熱されて膨張し、出し入れする際にグリル庫内に擦れて重く感じたり、ホーローを傷めることがあります。

⚠注意

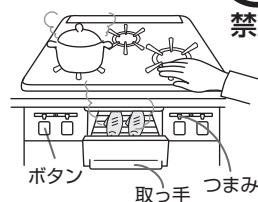
■調理以外の用途には使わない

過熱・異常燃焼による機器焼損や火災の原因になります。

■衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しない

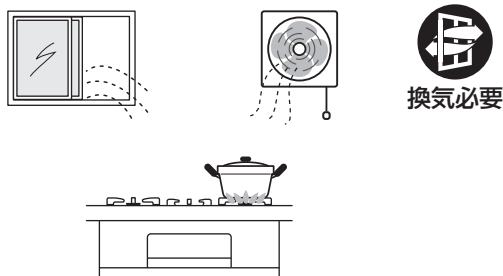
衣類（ふきんなど）が落下して火災の原因になります。

■使用中や使用直後は操作部以外は触らない

機器本体とその周辺および調理道具が熱くなるため、やけどをするおそれがあります。
＊特に小さなお子さまがいる家庭では注意してください。

⚠注意

■ガス事故防止（換気に注意）

閉めきった部屋で長時間使用しないで、使用中は窓を開けるか換気扇を回してください。一酸化炭素中毒の原因になります。また、ストーブなど他の燃焼機器を長時間使用している部屋でお使いの場合は、点火しにくかったり、正常に燃焼しない場合があります。

＊自然排気式給湯器および風呂釜を同時に使用する場合は、換気扇を回さず窓などを開けて換気してください。換気扇を回すと自然排気式給湯器および風呂釜の排気ガスが屋内に流れ込むおそれがあります。

■窓から吹き込む風や冷暖房機器の風、扇風機の風などを機器にあてない

機器焼損や作動不良の原因になります。

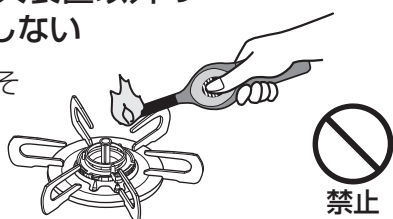
■幼児や小さな子供に触らせない

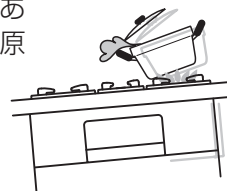
思わぬ事故の原因になります。

■点火操作時や使用中はバーナ付近に触れたり、顔を近づけたりしない

熱や炎でやけどをするおそれがあります。

■この機器の点火装置以外の方法では点火しない

やけどをするおそれがあります。

■水平で安定したところに設置する

機器が傾いていると、調理中のなべなどが滑り落ちて、やけどやけがをするおそれがあります。また事故や故障の原因になります。

■ごとくをはずして使用しない

なべなどを直接こんろにおいて使用しないでください。不完全燃焼や機器焼損のおそれがあります。

禁止

■やかん、なべなどの大きさに合わせて火力を調節する

火力が強すぎると、やけどのおそれやなべなどの取っ手が破損する原因になります。

禁止

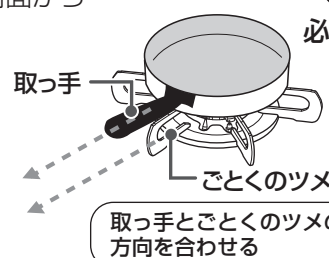
■片手なべや底が凹んだなべや丸いなべ、底がすべりやすいなべ、径の小さいなべなどは不安定な状態で使用しない

禁止

■中華なべなどの底の丸いなべは、取っ手を持ちながら使用する

不安定な状態で使用すると、なべが傾いて調理物が体にかかるなどしてやけどの原因になります。

■片手なべやフライパンなど、重心が片寄ったなべは不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる

取っ手を持って使用する、取っ手を機器の前面からはみ出さないように向けて置くなど、安定した状態で使用してください。

必ず行う

⚠注意

■**みそ汁などを温めなおすときは火力を弱めにして、よくかき混ぜながら温める**

強火で急に温め直すとなべ底に沈んだみそが突然噴き上がり（突沸現象）、みそ汁などが飛び散ったり、なべがはね上がってひっくり返ることがあります。特に、だし入り豆みそ（みそなど）に注意してください。

必ず行う

【突沸現象について】

突沸現象とは、突然に沸騰する現象です。水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、なべがはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやケガをするおそれがあります。これらの予防法として次の点にご注意ください。

- ●カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）
- ●熱々の汁物に塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少しさましてから行う。
- ●鍋の大きさにあった火力で加熱する。

■**点火操作をしても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする**

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

必ず行う

■**排気口に注意**

グリル使用中はグリル排気口に手や顔を近付けたりなべの取っ手等を向けたりしないでください。高温の排気熱が出ているため、やけどや取っ手が破損をするおそれがあります。

禁止

■**鶏肉などの脂の多い食材を焼くときは注意する**

飛び散った脂に引火してグリル庫内で調理物が発火するおそれがあります。焼き具合を見ながら火力を調節してください。

必ず行う

■**グリル使用時は魚を焼きすぎない**

魚に火がつき機器焼損の原因になります。

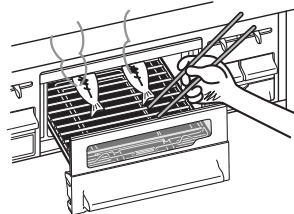
■**万一、グリル使用中に調理物や脂に火がついたときは、操作ボタンを押して消火状態にし、火が完全に消えるまでグリルを引き出さない**

炎があふれ出して、火災ややけどをするおそれがあります。

禁止

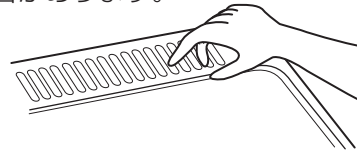
※消火後、点検を依頼してください。

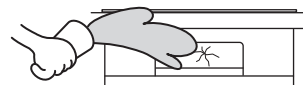
■**魚を裏返すときなどは、手や腕がグリル扉やガラスに触れないように注意する**

やけどをするおそれがあります。

注意

■**グリル排気口に指を入れない**

穴に指が引っ掛かるなど、けがをする場合があります。

禁止

■**熱くなったグリル扉ガラスに衝撃を加えたり（グリル扉の落下も含む）キズをつけたりしない**
また、使用中や使用直後に水をかけない

ガラスが割れてやけどやケガをする原因になります。

禁止

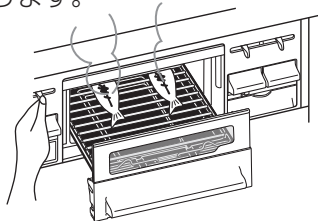
■**グリル扉に重いものを乗せたり、強い力を加えたりしない**

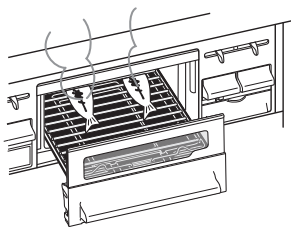
グリル扉がはずれ、ケガや機器破損の原因になります。

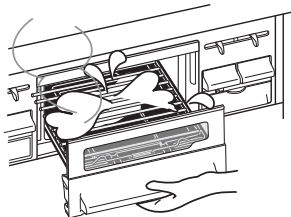
禁止

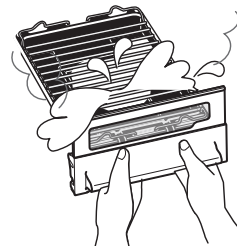
⚠注意

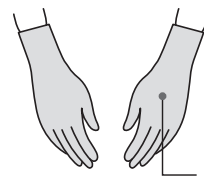
■グリル使用中、使用直後にグリル扉を開けた状態でコンロ操作をしない

熱くなったグリル扉に手が触れてやけどをするおそれがあります。

■グリル使用中はグリル扉を開けたままにしない

あふれた熱気により、トッププレートやつまみ・ボタン等が過熱されやけどや変色・変形の原因になります。

■グリル水入れ皿を勢いよく出し入れしない

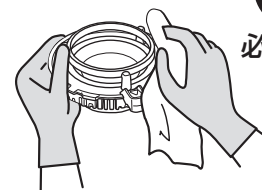
ゆっくり出し入れしてください。使用中、使用直後に勢いよく引き出すと水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

■グリル水入れ皿を持ち運びする際は、中の水がこぼれないように注意する

使用中、使用直後は水が高温になっているためやけどをするおそれがあります。

■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

■グリル庫内や本体内部をお手入れする際は各部品の突起物等に注意する

力強く当たった場合、手をけがすることがあります。

■バーナキャップを水洗いしたときは水気を十分ふき取る

水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることがあります。

必ず行う

おねがい

■この製品は家庭用ですので業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有償となります。

■使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。

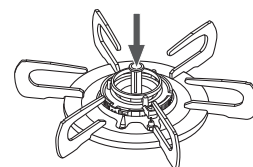
■燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

■初めて使うときやしばらく使わなかったときなど点火しにくい場合があります。配管内に空気が入っているためです。繰り返し点火操作してください。

■機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理を行ってください。

■トッププレートの上でIHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。

温度センサーを正しく作動させるために必ずお守りください

この製品は全てのコンロに温度センサーがついています。

⚠警告

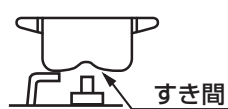
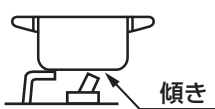
■火をつけたまま機器から絶対に離れない、就寝、外出をしない

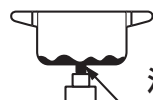
料理中のものが焦げたり燃えたりして火災の原因になります。
とくに天ぷら、揚げものをしているときは注意してください。

■高温炒め機能を使用中は揚げもの調理をしない

高温炒め機能は、天ぷら油過熱防止機能の消火温度が高くなっていますので、調理油が過熱され発火のおそれがあります。（高温炒め機能・・17ページ参照）

■温度センサーの上面となべ底やフライパンの底などが密着していないときは、使用しない

温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できずに発火や途中消火、機器焼損の原因になります。なべ底と温度センサーの間には隙間や異物がないようにしてください。また、安定性の悪いなべは使用しないでください。なべの重さは調理物を含め300g以上が必要です。

■なべ底やフライパンの底などについた異物や著しい汚れ・焦げなどは取り除く

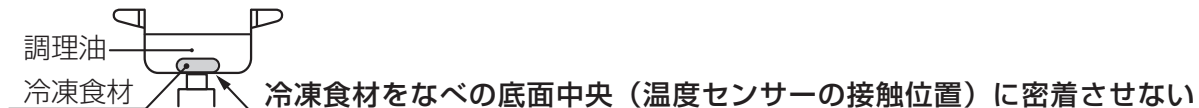
なべ底やフライパンの底に異物や汚れ・焦げなどが付着したまま使用すると、温度センサーがなべ底やフライパンの底などの温度を正しく検知できず、発火や途中消火、機器焼損の原因になります。

■揚げもの調理は食材全体が十分につかるまで調理油（必ず200mL以上）を入れて行う

調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、温度センサーが働かず、発火するおそれがあります。
特にフライパンなどの底が広いなべで揚げもの調理をする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと発火するおそれがあります。

⚠警告

■冷凍食材をなべの底面中央に密着させた状態で揚げもの調理をしない

なべの底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーがなべ底の温度を正しく検知しないため、発火するおそれがあります。
食材は中央部を避けて置いてください。

冷凍食材をなべの底面中央（温度センサーの接触位置）に密着させない

禁止

■複数回使用した調理油で揚げもの調理をしない

何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが
沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。
発火が起こりやすくなる場合があります。

禁止

■揚げすぎない

豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは
特に注意してください。
揚げすぎると油が飛び散り、発火ややけどのおそれがあります。

禁止

■耐熱ガラス容器、土なべなど、熱が伝わりにくいもので揚げもの調理はしない

天ぷら油過熱防止機能が働かず、発火することがあります。

耐熱ガラスなべ

土なべ

圧力なべ

打ち出しなべ

丸底中華なべ

禁止

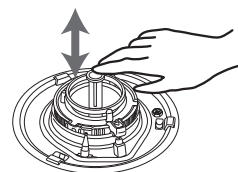
⚠注意

■温度センサーに強いショックを加えたり、キズをつけない

なべ底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。また、温度センサーが故障すると温度センサーが作動しない場合があります。

禁止

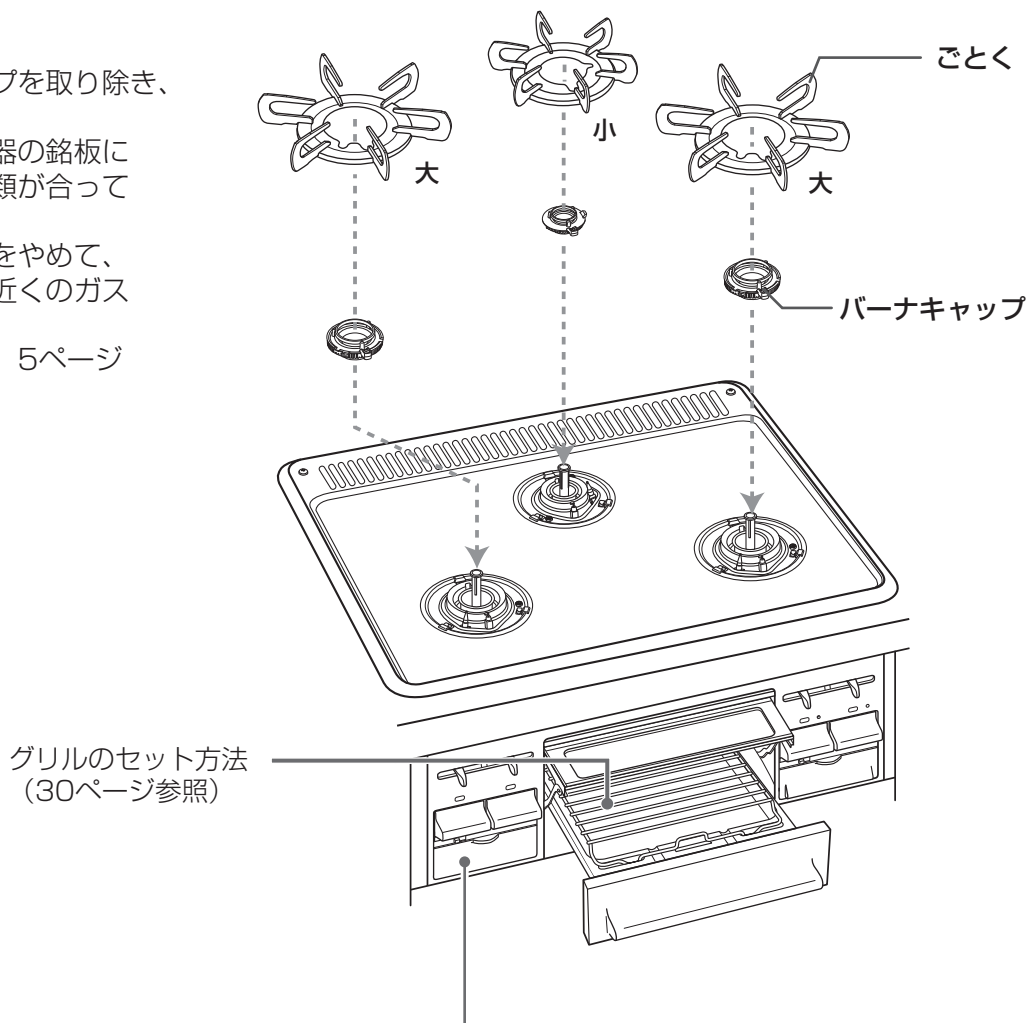
■温度センサーがスムーズに上下に動くか確認する また温度センサーとなべ底の密着する部分はいつも清潔にしておく

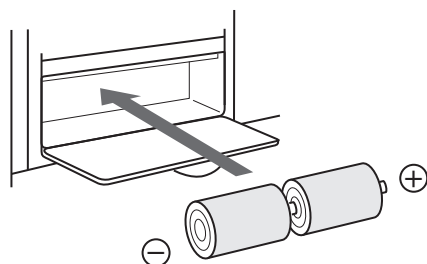
コンロを使用していないときに、なべなどをごとくの上に乗せておいても温度センサーに支障はありません。しかし、汚れが付着したり、動きが悪いと温度センサーがなべ底の温度を正しく感知できず、調理油の発火の原因になります。お手入れしても温度センサーの動きが悪いときはお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

必ず行う

設置について

＊設置工事説明書と合わせてご覧になり、設置工事説明書通り正しく設置されていることをご確認ください。

■部品のセット

●あて紙や梱包部材やテープを取り除き、各部品をセットする。
●ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っているか確かめる。
合っていない場合は使用をやめて、お買い上げの販売店かお近くのガス事業者まで連絡する。
（「必ずお守りください」5ページ参照）

乾電池のセット（アルカリ乾電池　単1形　1.5V　2個）

①電池ケースのふたを開ける
②乾電池の ⊕ を右にしていれ、先に入れた乾電池を左へ押しながら2個目を入れる
③電池ケースのふたを閉める

⚠注意

■乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない

乾電池が破裂し、手や衣服などを汚すだけでなく、目などに入ると大変危険です。

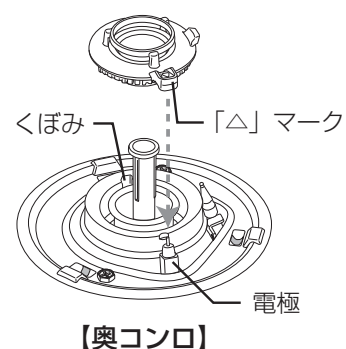
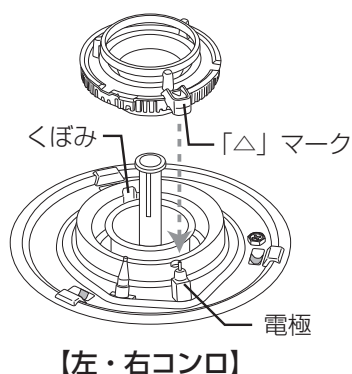
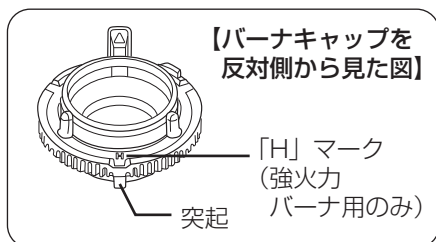
おねがい

●電池ケースに水などの異物が入った場合は、乾電池の接触不良の原因となるため、ふきとってきれいにしてください。
●乾電池の挿入方向を間違えないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池、または違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
●乾電池は必ず２個とも同種類の新品のアルカリ乾電池をご使用ください。マンガン乾電池を使用の場合は寿命が短くなります。
●乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。未使用の乾電池でも「使用推奨期限（月ー年）」を過ぎている場合は放電により寿命が短くなります。また、付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

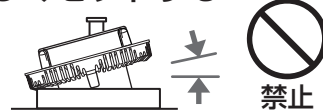
バーナキャップのセット

バーナキャップ上面の「△」マークを手前の電極の位置にあわせ、反対側の突起をくぼみにあわせてセットする

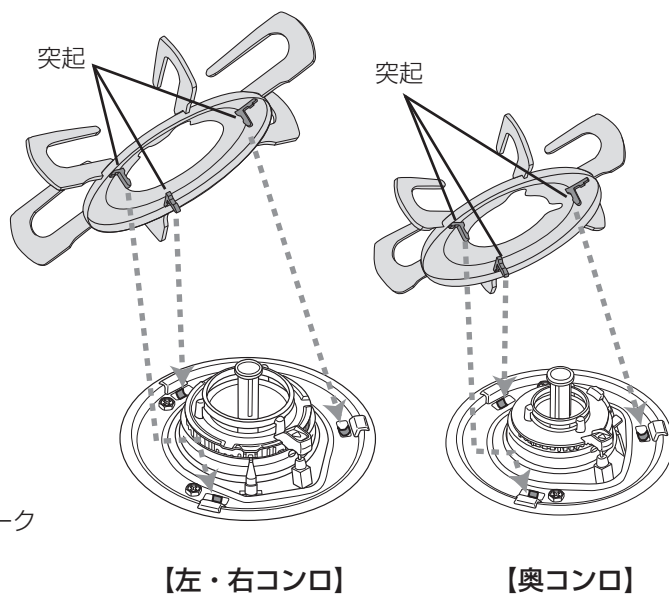
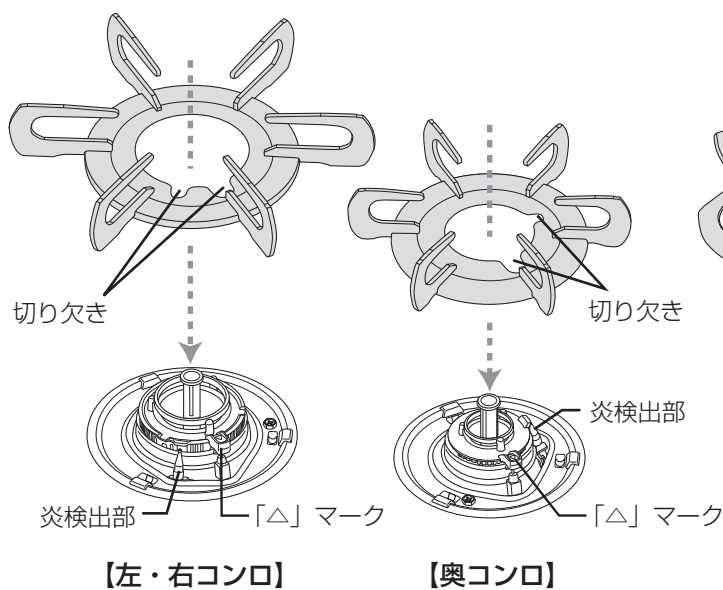
●強火力バーナ用のバーナキャップは、奥の突起部に「H」マークを表示しています。
＊標準バーナ用と強火力バーナ用（「H」マーク付）では形状が異なりますので、取り付け間違いしないよう注意してください。

【左・右コンロ】　【奥コンロ】

⚠ 警告

浮き・傾きのないように正しくセットする

→不完全燃焼や火災の原因になります。

ごとくのセット

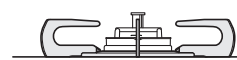
①ごとくの切り欠き2箇所をバーナキャップの「△」マークと炎検出部の真上にあわせる

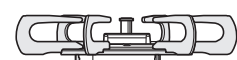
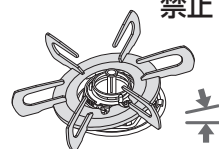
②裏面の突起（3か所）をトッププレートの差し込み穴にしっかりとはめ込む

⚠ 注意

浮き・傾きのないように正しくセットする

→ごとくの裏側の突起部をトッププレートの差し込み穴にしっかりはめ込み、浮き・傾きのないようにセットしてください。
ごとくが浮いたまま使用すると不完全燃焼や火災、故障の原因になります。

禁止

【正しいセット】

浮き・傾きなし
大きく動くことはありません。

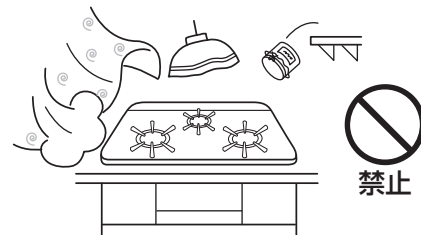
【誤ったセット】

浮き・傾きあり
少しの力で大きく動いてしまいます。

設置について

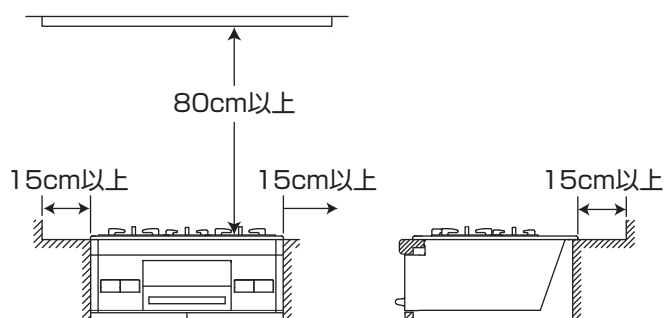
■設置場所と周囲の防火措置

一酸化炭素中毒や火災、やけどの原因となりますので正しく設置してください。
＊防火措置は各地の火災予防条例に従って行ってください。

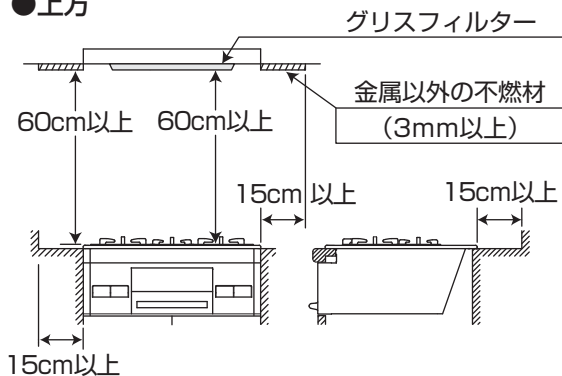
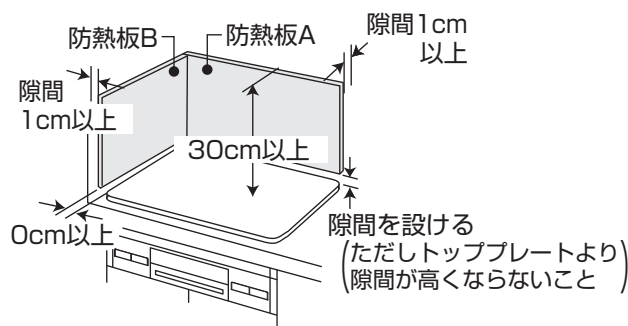
⚠警告

下記の条件を満たしている場所をお選びください。
＊設置後に、機器の周囲の改装（吊り戸棚をつけるなど）を行う場合も設置基準をお守りください。

- ●風が吹き込まない
- ●水や熱がかからない
- ●換気が良い
- ●上に照明器具などの樹脂製品がない
- ●水平で安定している
- ●落下物の危険がない
- ●上に湯沸器がない
- ●周囲に可燃物がない

周囲に可燃物（木製などの可燃性の壁、ステンレス板や薄いタイルなどの不燃材を可燃性の壁に直接貼り付けた壁、たななど）**のある場合**

- ●トッププレートより上の側面は15cm以上、トッププレートより上の後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より80cm以上離す
- ●図の離隔距離がとれない場合は、防熱板を取り付ける

■防熱板について

別売の防熱板Ａ、Ｂまたは金属以外の厚さ3mm以上の不燃材を図のように取り付けてください。
＊防熱板A, Bを壁に設置する場合は、壁とトッププレートとの隙間が25mm必要で、取り付け方法は壁にネジ止めとなります。

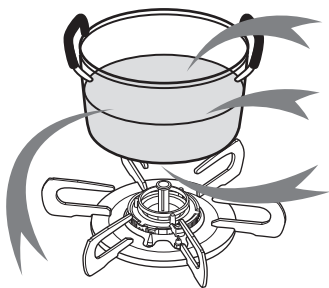
●上方

●側面・背面

コンロの使いかた

コンロを使う前に

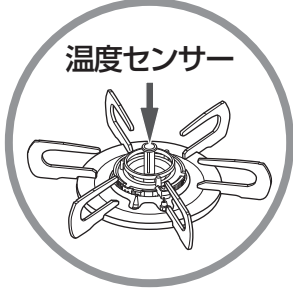
おねがい

●なべに付いた水滴はふき取ってからごとくにのせてください。余分な熱が必要になるうえ、水滴がバーナに落ちて目づまりし、点火不良になることもあります。
●なべをごとくにのせてから点火したほうがより点火が確実になります。
●弱火でご使用の際、キャビネット扉は静かに開閉してください。あまり強く開閉すると消火することがあります。
●煮こぼれに注意してください。機器の内部に浸入しますと機器故障の原因になります。また、トッププレート、ごとく、バーナなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を早くいためます。
●焦げつき消火機能が付いていても調理によってはひどく焦げついてしまう場合があります。焦げつきやすい調理の場合、弱火（最弱火力）でようすを見ながら調理してください。
　《焦げつきやすい調理の例》水分が少なく、調味料が多い調理・カレーやシチューの再加熱
●揚げもの調理は標準バーナの使用をおすすめします。
揚げものは、油の温度を一定に保つ「揚げもの温度機能（19ページ参照）」を使用すると便利です。

■温度センサーを正しく作動させるためにお守りください

特に揚げもの調理時にお守りいただけなければ、調理油の過熱による発火を防止できないことがあります。

揚げもの調理時は、200mL以上の油を入れる

なべの重さは、食材を含んで300g以上を目安とする
※重さはなべや取っ手の形状により異なります。

なべ底の中心を、温度センサーの上面に密着させる
※なべ底の中心と温度センサーの上面が密着していないときは使用しないでください。

調理に適したなべを選ぶ（下表）

○：適する　×：適さない

なべなどの種類	油調理		その他の調理(煮物など)	備　考
	揚げもの	炒めもの		
ホーローなべ、ステンレスなべ(多層を含む)、アルミ・鉄なべ、無水なべ	○	○	○	温度センサーに適しています。
アルミ・鉄・ステンレス(多層を含む) フライパン、平底中華なべ	○	○	○	炒めもの調理時フライパンを返す動作を何度も行い、温度センサーとなべ底が密着していない時間が長くなると、途中消火することがあります。
天ぷらなべ	○	／	／	揚げもの調理以外の調理には適していません。
耐熱ガラスなべ、土なべ、圧力なべ	×	○ (ただし、消火する場合があります)	○ (ただし、消火する場合があります)	揚げもの調理には適していません。発火することがありますので、使用しないでください。
打ち出しなべ、丸底中華なべ	×	○	○	揚げもの調理には適していません。揚げもの調理以外の調理は、なべ底の中心と温度センサーの上面が密着していることを確かめてください。
焼網	／	／	×	消火したり、トッププレートやごとくの変色等の原因になります。

コンロの使いかた

使用中、自動的に弱火になったときは ⇒【異常過熱防止機能】が働いています

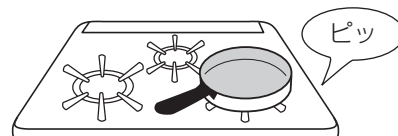
炒めもの調理・焼きもの調理など比較的温度の高い調理や、なべのから焼きをしたときに、弱火⇔強火と火力を自動調節し、なべなどの異常過熱を防止する機能です。この状態が約30分続いた場合、または弱火状態でも温度センサーが更に高い温度になった場合は自動消火します。（標準バーナ・強火力バーナのみ）

●から焼きなどでなべの温度が急速に上昇すると、安全のため加熱途中でも火力をいったん弱くし、異常高温に達しないよう火力を自動制御します。
※最初に弱火になったとき、ブザーが“ピッ”と1回鳴ってお知らせします。
●なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火（もとの火力）に戻ります。
＊故障ではありません。
＊自動的に炎の大きさが弱火から強火へ変化します。やけどのおそれがあるため、顔や手や衣服を炎・バーナ付近には近づけないように注意してください。
＊自動消火した場合は、なべなどが相当熱くなっていますので、やけどなどに注意してください。
＊自動消火後、再使用する場合は、操作ボタンを消火位置まで戻し、少し時間をおいてから点火操作をしてください。

カスタマイズ

カスタマイズ機能を使用してコンロの異常過熱防止機能（高温での調理が続いた場合、自動消火する機能）がはたらいた場合、自動消火するまでの時間を約15分に変更することもできます。詳しくはカスタマイズ機能（25ページ）を参照ください。

【ワンポイント】

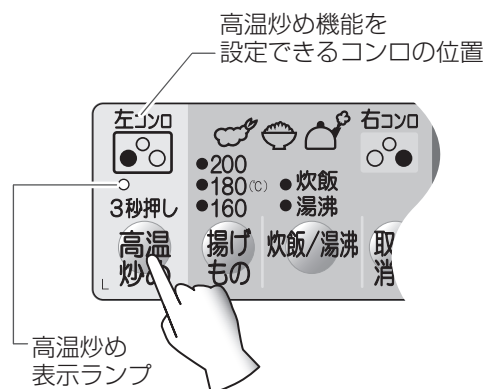
炒めものなどの調理をする場合には、先になべを加熱し、ブザーが"ピッ" と1回鳴り、自動的に弱火になったときが具材の入れ頃です。

煎りものなど､さらに高温になる調理には
（高温炒め機能の設定：強火力バーナのみ）

煎りものなど、高温が必要な調理の場合に使用してください。（強火力バーナのみ）

■強火力バーナを使用中に、“高温炒めスイッチ”を長押しする（3秒以上）

●ブザーが“ピッ”と鳴り、高温炒め表示ランプが点灯します。
●強火力バーナの「焦げつき消火機能」は作動しません。

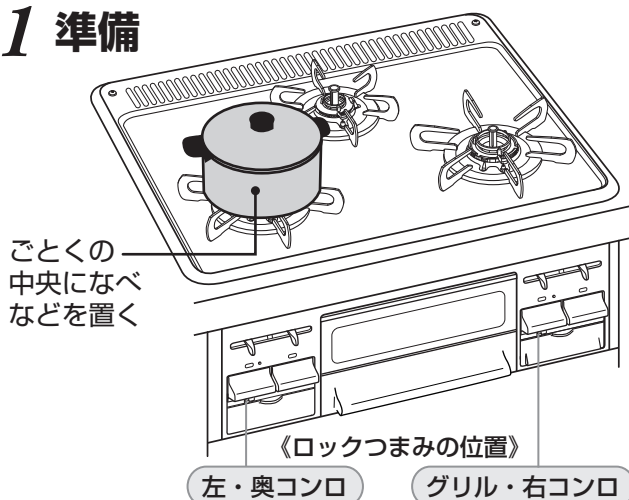
※「高温炒め機能」を取り消すには、もう一度、高温炒めスイッチを押してください。

●ブザーが“ピッ”と鳴り、高温炒め表示ランプが消灯します。
●強火力バーナの「焦げつき消火機能」は作動します。

⚠警告

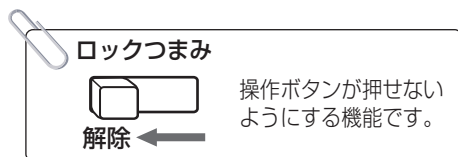
揚げものなどの油調理には、高温炒め機能を使用しない

知っておいてね

●高温炒め機能を使用中も、センサーの故障を防止するため、センサーの温度があがりすぎると自動的に火力を調節したり、ガスを止めて消火したりすることがあります。（異常過熱防止機能）
●高温炒め機能を設定したまま消火しても、次回点火時には高温炒め機能は取り消され、通常設定に戻ります。

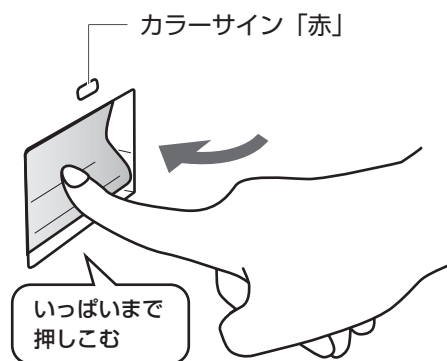
1 準備

①操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

②ロックつまみを左に動かしてロックを解除する
＊ロックされたまま操作ボタンをムリに押したり、使用中につまみを動かすと故障の原因になります。

2 点火

カラーサイン「赤」

いっぱいまで
押しこむ

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押す
●ボタンはいっぱいまで押さないと点火しません。
●パチパチと音がして点火します。（コンロとグリル同時に放電）
●標準バーナ・小バーナの火力調節つまみは、弱火側にある場合、「強火」の方向へ自動的に移動します。
●強火力バーナの火力調節つまみは「中火」の方向へ自動的に移動します。

②点火していることを確認する
●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「黒」に変わります。

⚠注意

点火操作をしても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

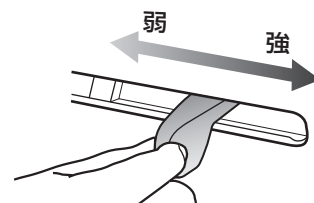
すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

必ず行う

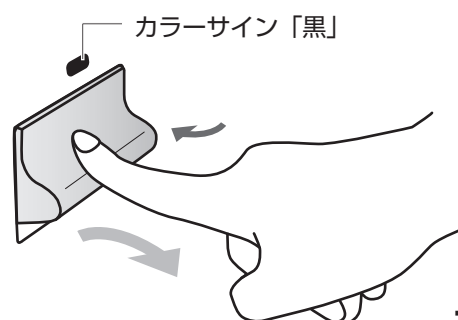
3 火力調節

炎を見ながらつまみをゆっくり動かす
●使用中もときどき燃焼を確かめてください。
●強から弱へ急速につまみを動かしても、火力はゆっくり変化します。
※コンロ使用中、センサー温度が高くなると、自動的に強火⇔弱火を繰り返し、なべなどの異常過熱を防止する機能が作動します。

4 調理終了・消火

カラーサイン「黒」

①操作ボタンを押す
●消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックし、ガス栓を閉める
●ロックつまみは小さなお子様のいたずら防止にご利用ください。

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

「機能選択モード」揚げもの温度機能の使いかた（標準バーナのみ）

油の温度を160℃、170℃、180℃、190℃、200℃のいずれかに一定に保ちます。

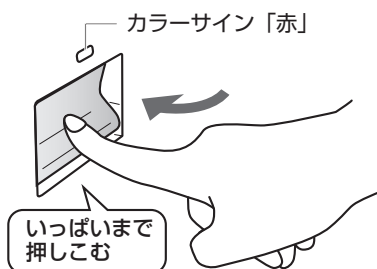
知っておいてね

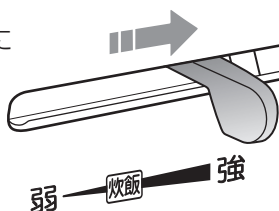
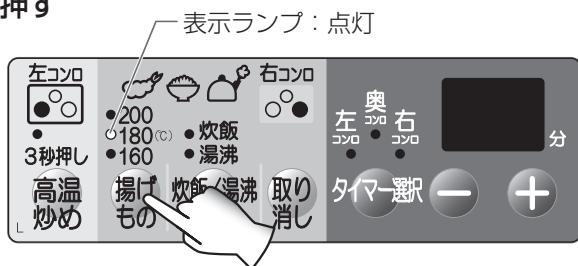
調理時の油量は700mL～1000mLが適量です。油量が少ないと、油の温度は設定温度より高めに、多いと低めになります。また、なべの厚さや大きさによっても設定温度と異なる場合があります。

■揚げもの温度の目安

160℃	から揚げ・ドーナツ
180℃	天ぷら・フライ
200℃	こげめを強くしたい揚げもの

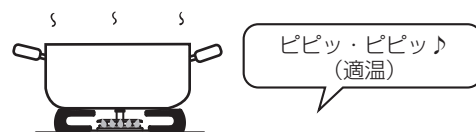
準 備 ●揚げもの調理に適したなべに700mL～1000mLの油を入れてセットします。

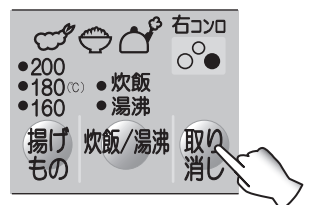
1 標準バーナの操作ボタンを押し、点火する

2 火力を全開にする

※ただし、なべなどの大きさに合わせて調節してください。

3 揚げものスイッチを押す

●表示ランプが点灯します。
●表示ランプは揚げものスイッチを押すごとに、「180℃」→「180℃・200℃」→「200℃」→「160℃」→「160・180℃」→「ランプ消灯（取り消し）」→「180℃」…のように切り替わります。
ご希望の「揚げもの温度」に合せてください。

点灯するランプ	揚げもの温度
160℃	160℃
160℃・180℃	170℃
180℃	180℃
180℃・200℃	190℃
200℃	200℃

4 油が設定温度になると、ブザーでお知らせ

● “ピピッ・ピピッ…”と12回ブザーが鳴ります。
●調理中、自動的に火力調節して設定温度を保ちます。

5 調理終了後は、標準バーナの操作ボタンを押して消火する

調理途中で取り消しスイッチを押すと機能選択モードを解除することができます。

「機能選択モード」
湯沸かし機能の使いかた（標準バーナのみ）

沸騰後、自動的に弱火になり、5分後にガスを止めます。

おねがい

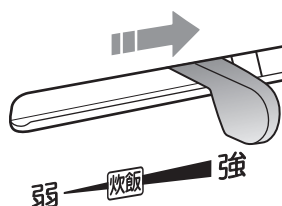
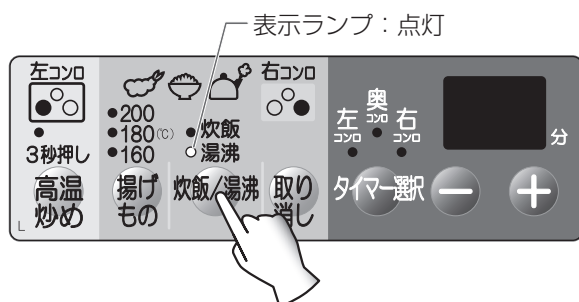
●沸騰するまではふたの開け・閉め、水や具の追加、中の水をかき混ぜる、やかんやなべを動かす等はしないでください。温度センサーが正しく働かない場合があります。
●約70℃以上のお湯をわかした場合、100℃になる前に自動消火してしまうことがあります。
●やかんやなべの種類や水量の多少によっては沸騰のお知らせが遅れたり、吹きこぼれることがあります。

準備

底の平らな金属製のやかんやなべに0.5L〜3.0Lの水を入れてセットします。やかんやなべにはふたをしてください。

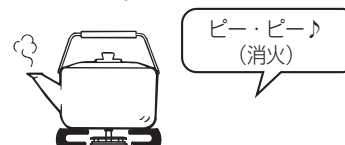
1 標準バーナの操作ボタンを押し、点火する

2 火力を全開にする

※ただし、やかん・なべなどの大きさに合わせて調節してください。

3 炊飯／湯沸スイッチを押し、「湯沸」表示に合わせる

●表示ランプが点灯します
●表示ランプは炊飯／湯沸スイッチを押すごとに**「湯沸」**→「炊飯」のように変わります。

4 沸騰・消火時はブザーでお知らせ

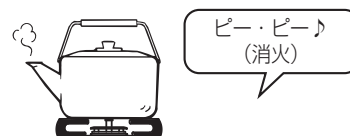
●沸騰時は“ピピッ・ピピッ…”と12回ブザーが鳴ります。その後自動的に弱火になります。

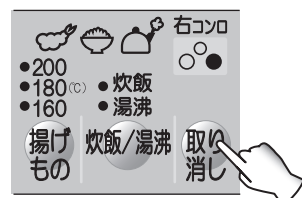
●自動消火時は“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、自動消火します。

カスタマイズ

カスタマイズ機能を使用して沸騰後、5分間の保温をしないように変更することができます。
詳しくはカスタマイズ機能の設定（25ページ）を参照ください。

保温なしに設定した場合

●沸騰後“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、自動消火します。

ピー・ピー♪
（消火）

5 調理終了後は、標準バーナの操作ボタンを押して消火操作をする

調理途中で取り消しスイッチを押すと機能選択モードを解除することができます。

「機能選択モード」
炊飯機能の使いかた（標準バーナのみ）

自動的に炊飯し、炊き上がり後ガスを止めます。
その後、むらしのために約15分間表示ランプ「炊飯」が点滅します。

知っておいてね

●なべは別売の炊飯専用鍋をお使いいただくと上手に炊飯できます。市販の文化なべでも炊飯可能ですが、ガラスなべ、土鍋では炊飯機能は使えません。
●浅いなべはふきこぼれることがあります。
●２度炊き・あたため直しをしたときや、なべの材質や厚み・形状によっては焦げつく場合があります。炊飯機能選択使用中は焦げつき消火機能が働きません。
●火力を指定の位置にしないとふきこぼれたり、うまく炊けないことがあります。

炊飯の準備

①お手持ちの計量カップでお米を正しく計り、ごみ・ぬかなどを洗いながら、素早くとぎあげる

●一度水に浸したお米は砕けやすくなります。砕け米・粉米などが混じって炊飯されると風味を損ね、早切れ、炊きむら、着色等の原因となります。

②水加減をする

●水の量は洗米後、水切りしてから追加する量です。
●炊飯は1合から5合までできます。
●新米・古米・無洗米または固め・やわらかめなどの好みによって水加減をしてください。
●水加減後、30分以上水に浸してください。浸し時間が短いとおいしく炊けないことがあります。
●炊き込みご飯は、具の量が多すぎるとうまく炊けないことがあります。
●無洗米をご使用の場合、米粉が多く水のにごりがひどい場合には表面の米粉を洗い流してください。米粉が底にたまると生炊けの原因になります。またお米には気泡が付着していますので、水を入れたら底の方からやさしく数回かきまわしてください。

【水加減の目安】

米	水
180mL・1合(150g)	約280mL
360mL・2合(300g)	約480mL
540mL・3合(450g)	約680mL
720mL・4合(600g)	約880mL
900mL・5合(750g)	約1070mL

【お米を水に浸しておく時間】

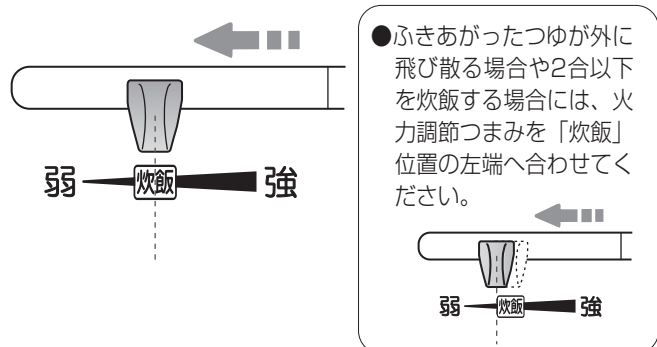
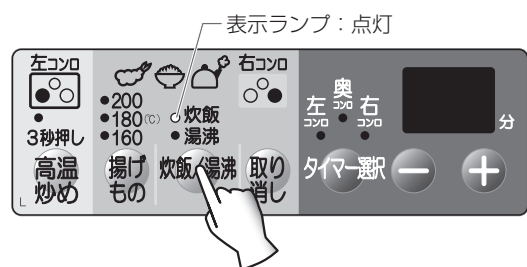
季節	春～夏	秋～冬
白米	30分以上	60分以上
胚芽精米 輸入米・古米	60分以上	90分以上
無洗米	「無洗米メーカーの炊きかた」に従う	

＊ただし、14時間以上浸しておくと変質の原因となります。

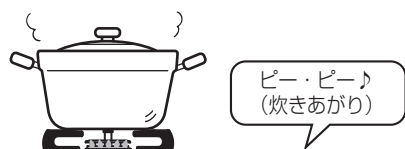
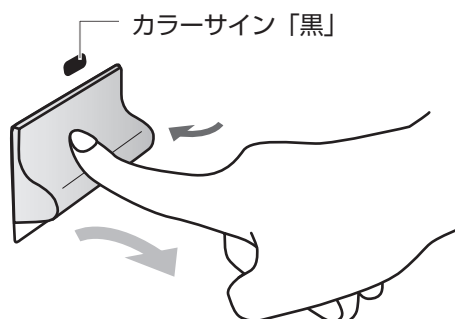
③お米と水の入ったなべにふたをしてセットする

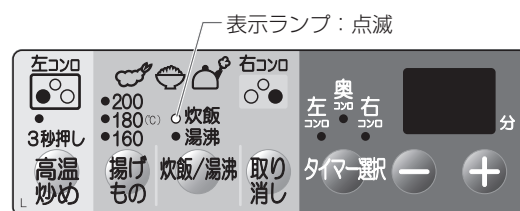
1 標準バーナの操作ボタンを押し、点火する

2 火力調節つまみを「炊飯」の位置に合わせる

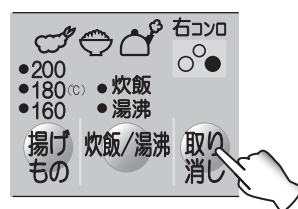
●ふきあがったつゆが外に飛び散る場合や2合以下を炊飯する場合には、火力調節つまみを「炊飯」位置の左端へ合わせてください。

3 炊飯／湯沸スイッチを押し、「炊飯」表示に合わせる

●表示ランプが点灯します。
●表示ランプは炊飯／湯沸スイッチを押すごとに「湯沸」→「炊飯」のように変わります。

4 炊き上がって消火するとブザーでお知らせ

●炊き上がると自動消火し、“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴ります。

5 標準バーナの操作ボタンを押して消火操作をする

6 むらしをする

●炊き上がり後、むらしのために約15分間「炊飯」の表示ランプが点滅します。

7 むらしが終了するとブザーでお知らせ

●むらし終了時は“ピピッ・ピピッ…”と12回ブザーが鳴ります。
●ご飯をほぐしながらよくかき混ぜてください。
余分な水分が逃げておいしくなります。

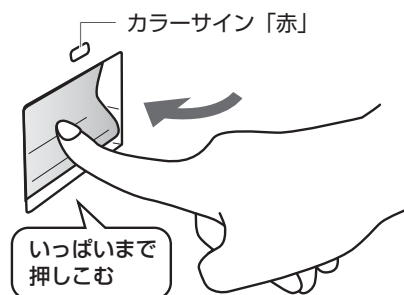
調理途中で取り消しスイッチを押すと機能選択モードを解除することができます。

コンロタイマーの使いかた

いずれか1ヶ所のコンロで1〜99分までの自動消火タイマーを設定できます。
設定時間になるとブザーでお知らせし、自動的に消火します。

知っておいてね

●コンロタイマーは1ケ所のコンロバーナのみセットが可能です。
●機能選択モードを使用している場合は標準バーナのコンロタイマーは設定できません。
●標準バーナのコンロタイマー使用中に機能選択モードを設定した場合、機能選択モードが優先されコンロタイマーは解除されます。
●調理途中にコンロタイマーを使用中の他のコンロへ変更する場合は、タイマー選択スイッチを押してコンロを変更してください。この場合、表示部は“3”分が表示されますので、再度時間を設定してください。

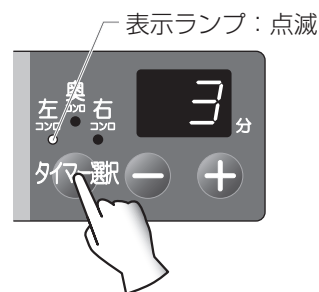
1 点 火

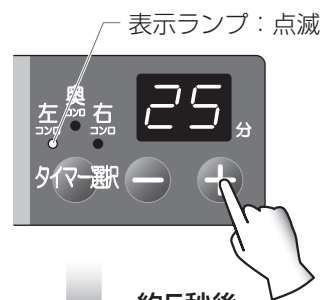
各バーナの点火操作をする

2 コンロタイマーのセット

①操作部を開く

②タイマー選択スイッチを押し、タイマー設定したいコンロを選択する

●選択したコンロの表示ランプが点滅し、表示部に“3”分が表示されます。
●表示ランプはタイマー選択スイッチを押すごとに次のように変わります。
（表示ランプは使用しているコンロのみ点滅します。）

左コンロ → 右コンロ → 奥コンロ → ランプ消灯（取り消し）

③ ⊕ ⊖スイッチを押してタイマー時間をセットする

●お使いのたびにセットしてください。初期設定は3分です。
●1〜99分まで1分刻みでセットできます。スイッチを押し続けると5分刻みに変わります。
＊使用途中でコンロタイマーを設定する場合、安全のため、バーナの最大持続時間（約120分）を超える範囲は設定できません。

【タイマースタート】

●表示ランプが点灯にかわります。
※調理途中でタイマー時間を変更したい場合は、タイマー選択スイッチを押してから ⊕⊖ スイッチでタイマー時間を変更してください。

タイマーを途中でやめる場合は

タイマー選択スイッチを、表示ランプが消灯するまで数回押してください。

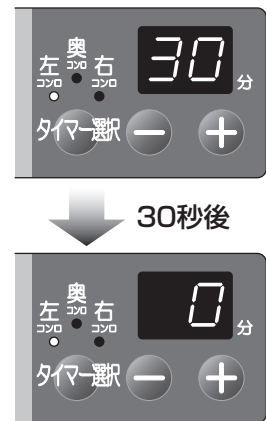
3 終了・消火

●調理終了30秒前になると秒表示に変わります。

●設定時間が終了すると「ピー・ピー…」と5回ブザーが鳴ってお知らせし、自動消火します。

カスタマイズ
カスタマイズ機能を使用してブザー音をメロディに変更することもできます。詳しくはカスタマイズ機能（25ページ）を参照ください。

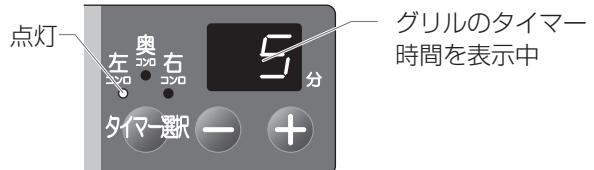
●自動消火後、10秒後に残り時間の表示と、表示ランプが消灯します。

自動消火後、操作ボタンを押して消火操作をする

コンロタイマーとグリルを同時に使用している場合

◆表示部について

表示部はグリルのタイマー時間を優先して表示します

※コンロタイマーを設定している場合は、コンロの表示ランプが点灯しています。

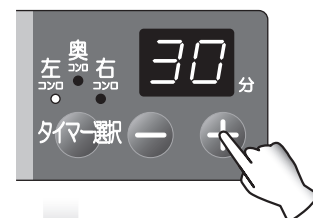
点灯
グリルのタイマー時間を表示中

＊コンロタイマー使用中にグリルを点火すると、表示部は自動的にグリルのタイマー表示へ切り替わります。
＊グリルが先に消火すると、表示部は自動的にコンロタイマー表示に切り替わります。

◆コンロタイマー表示を確認する／設定を変更する

①**タイマー選択スイッチを押してコンロタイマーを表示させる**

●表示ランプが点滅し、コンロタイマーの残り時間を表示します。

②**⊕ ⊖ スイッチを押してタイマー時間を変更する**

＊調理途中にコンロタイマーを他のコンロへ変更する場合は、タイマー選択スイッチを押してコンロを変更してください。
この場合、表示部は“3”分が表示されますので、再度時間を設定してください。

＊最後の操作から5秒後に、表示ランプが点灯に変わり、表示部はグリルのタイマー表示へ切り替わります。

カスタマイズ機能について（任意機能）

安心・便利機能を下記の範囲で設定（カスタマイズ）できます。
ご希望の方はお好みに合わせて設定してください。

◎簡易操作で一括してさらに安心な設定に変更することもできます。
→「さらに安心モード」（29ページ）

カスタマイズ機能はお客様が任意に設定できる機能です。
設定変更を希望されるお客様のみご利用ください。
一度登録すると、設定を記憶しますので、ご使用の都度登録する必要はありません。

安心・便利機能一覧

適応機能	初期設定	変更内容	手順参照ページ
消し忘れ消火機能　（3ページ） ●コンロの消し忘れ消火機能で自動消火するまでの時間を変更できます。 ●コンロごとに設定できます。	120分	10分～90分 （10分間隔）	26 27
異常過熱防止機能　（3,17ページ） ●コンロの異常過熱防止機能（高温での調理が続いた場合、自動消火する機能）が働いた場合、自動消火するまでの時間を変更できます。 ●標準コンロ・強火力コンロの設定を両方同時に変更します。	30分	15分	26 27
湯沸かし機能　（3,20ページ） ●コンロの「機能選択」湯沸かし機能を使用した場合、沸騰後、5分間の保温をしないように変更できます。	保温あり	保温なし （沸騰後、自動消火します。）	26 28
タイマー終了時のお知らせ音　（24,32ページ） ●コンロタイマー終了時のお知らせ音・グリルタイマー終了時のお知らせ音を変更できます。 ※その他のお知らせ音は変更できません。	ブザー	メロディ	26 28

知っておいてね

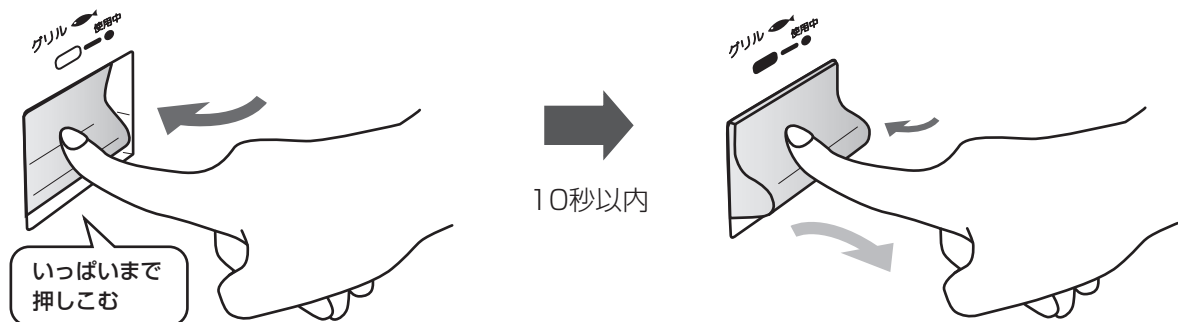
●操作後、乾電池を交換しても設定は記憶されています。
●カスタマイズ機能で消し忘れ消火機能の設定時間を変更した場合でも、湯沸かし機能・炊飯機能を使用している時はその機能が優先されます。（最大燃焼時間約120分）
●消し忘れ消火機能の設定時間と、コンロタイマーの設定時間（23ページ）ではコンロタイマーの設定時間が優先されます。

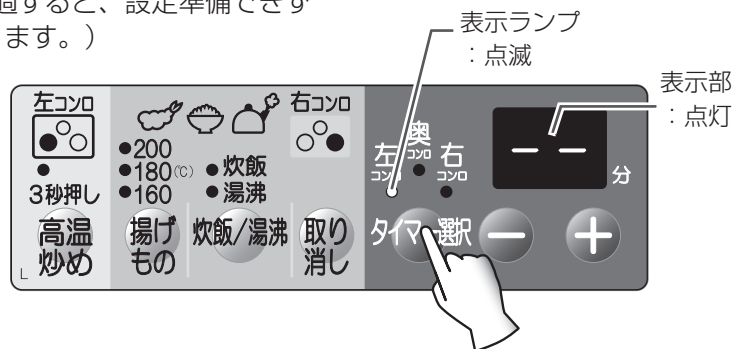
設定変更手順

カスタマイズモードの設定準備が完了してから、それぞれの設定変更を行ってください。

カスタマイズモードの設定準備

1 ガス栓を閉じ、すべての操作ボタンが消火位置に戻っていることを確認する

2 グリルの操作ボタンを押し、点火位置にし、
すぐにグリルの操作ボタンを戻し、消火位置にする
（10秒経過すると、設定できずに通常の使用状態に戻ります。）

3 タイマー選択スイッチを3秒間長押しする

●ブザーが“ピッ”と鳴り、表示ランプが点滅し、表示部が点灯（－ －または数字）すると設定準備完了です。
（ *2* の操作から10秒経過すると、設定準備できずに通常の使用状態に戻ります。）

※カスタマイズモードの設定準備が完了してから、
1分以内に下記の設定変更を開始してください。
1分を過ぎると通常の使用状態に戻ります。

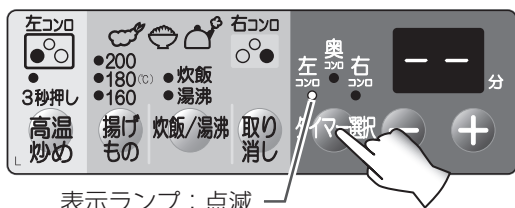
コンロ消し忘れ消火機能の自動消火時間の変更（27ページ参照）	異常過熱防止機能の自動消火時間の変更（27ページ参照）	湯沸かし機能の保温有り/無しの変更（28ページ参照）	タイマー終了時のお知らせ音の変更（28ページ参照）

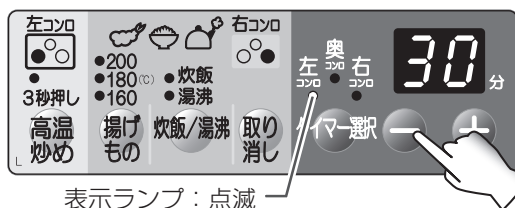
カスタマイズ機能について（任意機能）

カスタマイズモードの設定準備をする（26ページ）

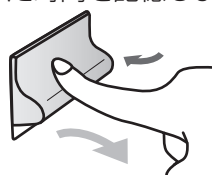
コンロ消し忘れ消火機能の自動消火時間の変更

4 タイマー選択スイッチを押し、設定したいコンロを選択する

●コンロタイマー表示ランプが点滅します。
タイマー選択スイッチを押すごとに、コンロタイマー表示ランプが右コンロ→奥コンロ→左コンロ…の順に切り替わります。
●表示部に現在の設定が表示されます。
（初期設定は120分、表示は「－ －」です。）

5 ⊕・⊖スイッチを押し、設定時間を変更する

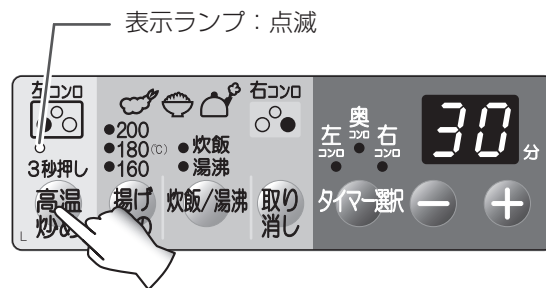
設定時間を減らしたいときは⊖スイッチを押す。
● ⊖ スイッチを押すごとに、
120分→90分→80分…30分→20分→10分と、切り替わります。
設定時間を増やしたいときは⊕スイッチを押す。
● ⊕ スイッチを押すごとに、
10分→20分→30分…80分→90分→120分と、切り替わります。

＊他のコンロも同時に設定したい場合は、*4* の操作に戻り、同様の手順で設定してください。

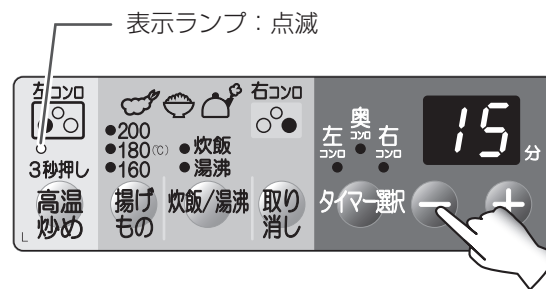
6 いずれかの操作ボタンを押す

●左コンロ・右コンロ・奥コンロ・グリルのいずれかの操作ボタンを押すと“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、設定完了します。
●設定した時間を記憶します。

おねがい
設定後は、操作ボタンを消火位置に戻してください。

異常過熱防止機能の自動消火時間の変更

4 高温炒めスイッチを押す

●高温炒め表示ランプが点滅します。
●表示部に現在の設定が表示されます。
（初期設定は30分です。）

5 ⊕・⊖ スイッチを押し、設定時間を変更する

● ⊕・⊖ スイッチを押すごとに、
15分→30分→15分…と、切り替わります。

6 いずれかの操作ボタンを押す

●左コンロ・右コンロ・奥コンロ・グリルのいずれかの操作ボタンを押すと“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、設定完了します。
●設定した時間を記憶します。

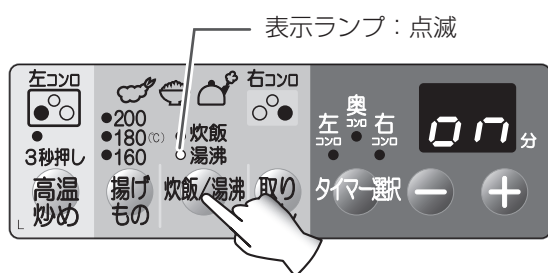
おねがい
設定後は、操作ボタンを消火位置に戻してください。

※設定の過程で1分以上何も操作をしないと、その時点で“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、自動的に設定完了します。その時点の設定を記憶します。

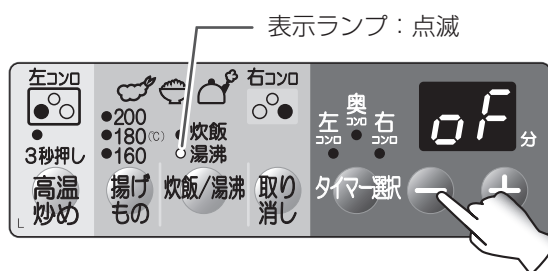
カスタマイズモードの設定準備をする（26ページ）

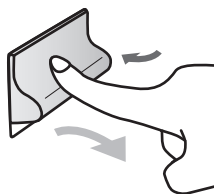
「機能選択」湯沸かし機能の保温有り/無しの変更

4 「炊飯/湯沸」スイッチを押す

●湯沸表示ランプが点滅します。
●表示部に現在の設定が表示されます。
（初期設定は on です。）

5 ⊕・⊖ スイッチを押し、設定を変更する

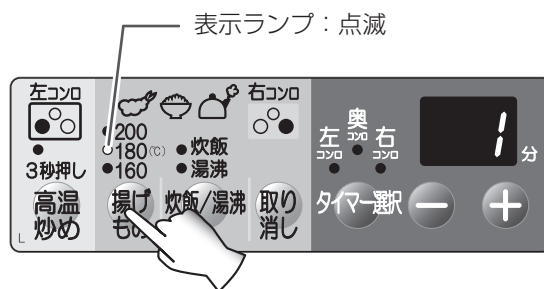
● ⊕・⊖ スイッチを押すごとに、
oF（オフ）→on（オン）…と、切り替わります。

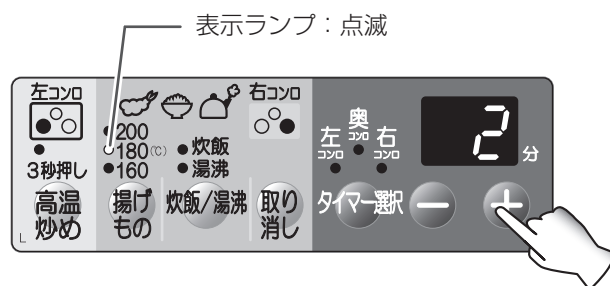
on（オン）：保温5分
oF（オフ）：保温なし

6 いずれかの操作ボタンを押す

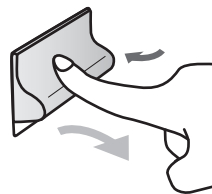
●左コンロ・右コンロ・奥コンロ・グリルのいずれかの操作ボタンを押すと“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、設定完了します。
●設定した時間を記憶します。

おねがい
設定後は、操作ボタンを消火位置に戻してください。

タイマー終了時のお知らせ音の変更

4 「揚げもの」スイッチを押す

●揚げもの表示ランプが点滅します。
●表示部に現在の設定が表示されます。
（初期設定は1（ブザー）です。）

5 ⊕・⊖ スイッチで音の種類を変更する

● ⊕ スイッチを押すと、
1（ブザー）→2（メロディ）と、切り替わります。
● ⊖ スイッチを押すと、
2（メロディ）→1（ブザー）と、切り替わります。

6 いずれかの操作ボタンを押す

●左コンロ・右コンロ・奥コンロ・グリルのいずれかの操作ボタンを押すと“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、設定完了します。
●設定した時間を記憶します。

おねがい
設定後は、操作ボタンを消火位置に戻してください。

※設定の過程で1分以上何も操作をしないと、その時点で“ピー・ピー…”と5回ブザーが鳴り、自動的に設定完了します。その時点の設定を記憶します。

カスタマイズ機能について（任意機能）

「さらに安心モード」の設定

簡易操作で一括してさらに安心な設定に変更することができます。

☆「さらに安心モード」に設定した場合

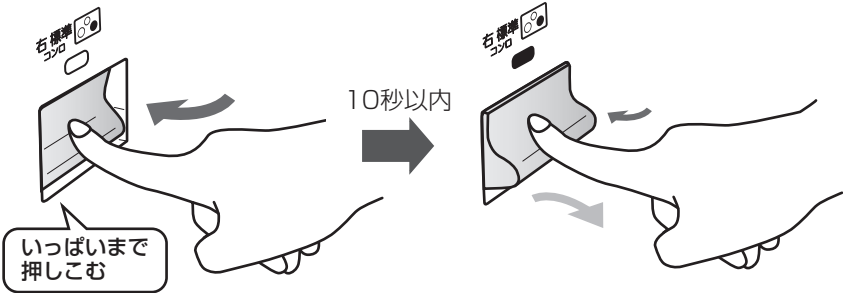
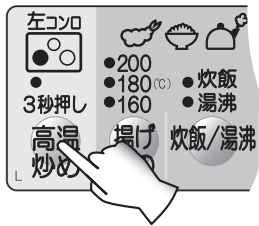
適応機能	変更内容
消し忘れ消火機能（3ページ）	すべてのコンロ30分
異常過熱防止機能（3,17ページ）	15分
湯沸かし機能（3,20ページ）	保温なし

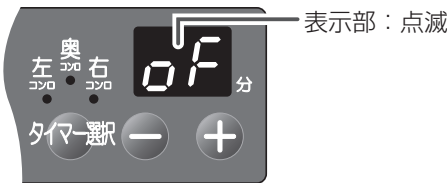
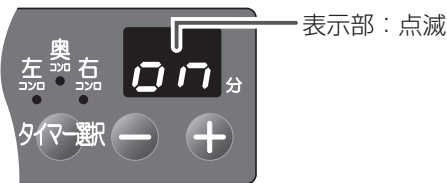
★「さらに安心モード」を解除した場合

適応機能	変更内容
消し忘れ消火機能（3ページ）	すべてのコンロ120分
異常過熱防止機能（3,17ページ）	30分
湯沸かし機能（3,20ページ）	保温あり

● 「さらに安心モード」を解除すると、カスタマイズ機能で設定した「タイマー終了時のお知らせ音」以外の機能が工場出荷時の設定に戻ります。（初期化されます。）

1 ガス栓を閉じ、すべての操作ボタンが消火位置に戻っていることを確認する

2 標準コンロの操作ボタンを押し点火位置にし、すぐに標準コンロの操作ボタンを戻し消火位置にする
（10秒経過すると、設定できずに通常の使用状態に戻ります。）

3 高温炒めスイッチを長押しする（3秒以上）
● 「さらに安心モード」が設定または、解除されます。
（ 2 の操作から10秒経過すると、設定できずに通常の使用状態に戻ります。）

☆「さらに安心モード」に設定した場合
メロディが流れ、
表示部（on）が点滅すると、
「さらに安心モード」が**設定**されます。
（初期設定はoFです。）

★「さらに安心モード」を解除した場合
"ピー・ピー…" と5回ブザーが鳴り、
表示部（oF）が点滅すると、
「さらに安心モード」が**解除**されます。

●5秒経過すると表示部が消灯し、設定変更が完了します。
●設定と解除は同じ操作方法になります。
●操作後、乾電池を交換しても設定は記憶されています。

グリルの使いかた

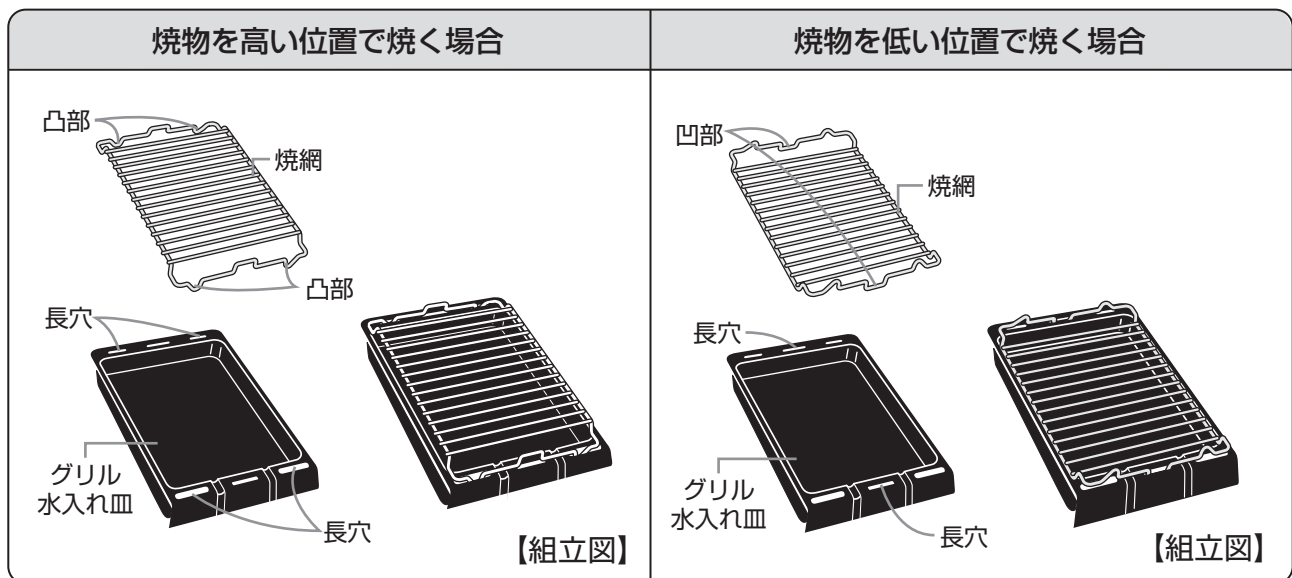
グリルを使う前に

はじめて使うとき

①グリル水入れ皿にコップ1杯（約200mL）の水を入れる
②約15分、空焼きする
… 庫内の部品に付着している加工油を焼ききるためで煙や臭いが出ても異常ではありません。

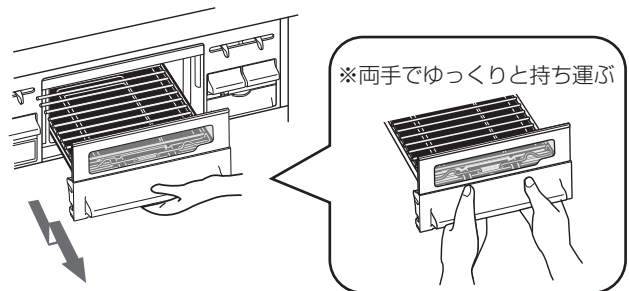
■グリルのセット方法

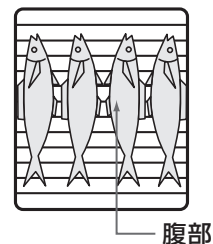
●次のように焼網の凹凸部をグリル水入れ皿の長穴にセットしてください。
＊焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさにより使い分けてください。

焼物を高い位置で焼く場合	焼物を低い位置で焼く場合

＊イラストは取っ手を取り外した状態で説明していますが、通常は取っ手を取り付けたままでセットしてください。

■グリル水入れ皿の取り出しかた

中の水がこぼれないようにゆっくりと引き出す
取りはずすときは、止まるところまで引き、少し持ち上げて引く

＊最初から持ち上げた状態で引き出さないでください。止まらずに勢いよく出てきてしまいます。
＊持ち運びするときは、取っ手部を両手でしっかりと持ってください。

■焼きかたのポイント

●焼網に食用油を塗っておくと、魚がくっつきにくくなります。
●魚のヒレなどこげやすい部分は厚めに塩をふるかアルミはくで包んでおくとこげかたが少なくなります。
●お好みにより塩をふっていただくと焼き色が濃くなります。
●魚は腹部を内側にして焼くと上手に焼けます。

おねがい

●冷凍された食材はしっかり解凍してから調理してください。解凍していないと火の通りが悪くなり、上手に焼けない場合や、安全機能が働き、消火する場合があります。

グリルの使いかた

おねがい

●グリル使用後、グリル水入れ皿や焼網を急に水で冷やさないでください。変形するおそれがあります。
●安全のため、グリルタイマーはグリルの最大持続時間（約22分）を超えない範囲までしか設定できません。
　＊魚を焼いている途中で焼き時間を変更する場合は、「22分－経過時間」（焼き時間が3分経過した場合は、最大「22分－3分=19分」）までしか変更できません。
●グリルは安全のため、最大約22分で消火します。焼き時間22分でも焼き足りない場合は、もう一度点火してください。
●干物や脂分の多いにしんなどは焼き過ぎるとグリル庫内で魚が燃え上がり、たまった脂に引火する場合がありますのでその場を離れないようにしてください。

グリルの使いかた

1 準備

①操作ボタンが押されていないことを確かめて、ガス栓を全開にする

⚠注意

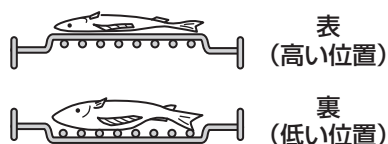
グリル庫内（バーナ付近）にアルミはくなどのゴミが付着していないことを確認する
→点火不良や思わぬ事故の原因になります。

必ず行う

②ロックつまみを左に動かしてロックを解除する

ロックつまみ　解除
操作ボタンが押せないようにする機能です。

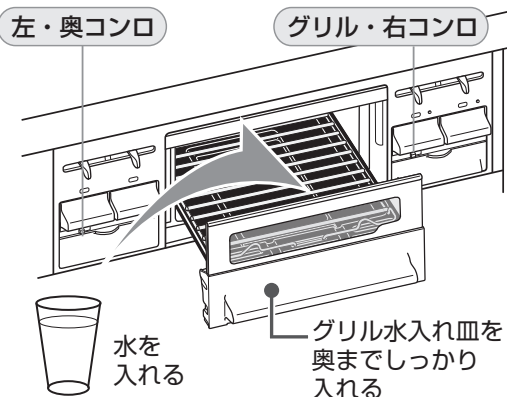
③焼網をセットする

●焼網は表裏で高さが変わります。焼物の種類、大きさ、お好みの焼き加減により使い分けてください。

④グリル水入れ皿にコップ1杯（約200mL）の水を入れる

⑤グリル水入れ皿を奥までしっかりと入れる

●グリル扉がしまっていることを確認してください。

《ロックつまみの位置》

左・奥コンロ　グリル・右コンロ
水を入れる
グリル水入れ皿を奥までしっかり入れる

2 点火

①操作ボタンをゆっくりいっぱいまで押す

●パチパチと音がして点火します。手を離しても確実に点火させるため約7秒間放電し続けます。（こんろとグリル同時に放電）
●カラーサインは操作ボタンの状態を示します。操作ボタンが押してあるときは「赤」に、押していないときは「黒」に変わります。

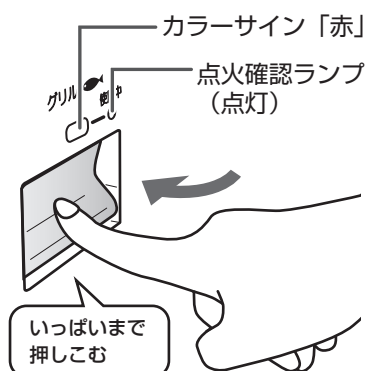
②バーナ全体に点火したことを確認する

●点火確認ランプが点灯します。

⚠注意

点火操作をしても点火しない場合は操作ボタンを戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする

すぐに点火操作をすると周囲のガスに点火して、衣服に燃え移ったり、やけどをするおそれがあります。

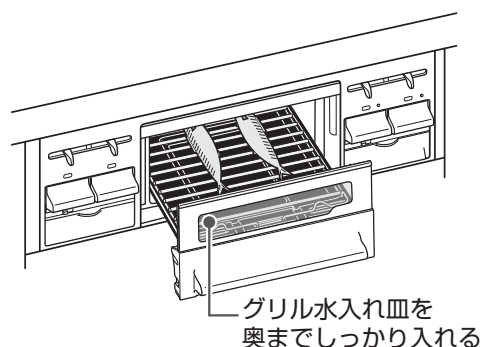
必ず行う

3 時間のセット・材料をのせる

①⊕ ⊖スイッチで加熱時間をセットする

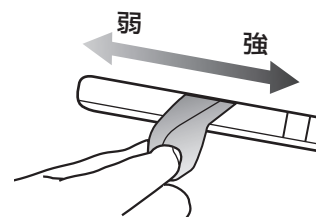
●お使いのたびにセットしてください。初期設定は約22分です。
●1～22分まで連続的に変わります。
●調理中に ⊕⊖ スイッチを押すと、加熱時間が変更できます。
●6～22分のタイマーを変更した場合は、設定時間の半分が過ぎた時点で「ピピッ・ピピッ…」と6回ブザーが鳴ってお知らせします。
＊ただし、タイマーを変更しなかった場合（初期設定：22分）や、1～5分のタイマー設定をした場合はブザーは鳴りません。また、タイマー設定後、しばらくしてタイマー時間を変更した場合は、最初に設定した時間の半分が過ぎた時点でのお知らせとなります。

②3分ほど予熱してから材料をのせる

表示部はグリルのタイマー時間を優先して表示します。

※コンロタイマーを設定している場合は、コンロタイマーの表示ランプが点灯しています。
（コンロタイマー表示の確認方法・・24ページ参照）

4 火力調節

材料に合わせて火力を調節する

●裏返した面は前よりも早い時間で焼き上がります。
＊火力の目安は全開（強）ですが、お好みにより弱火に調整もできます。弱火にした際、炎の見た目の大きさはほとんど変化しません。

5 調理終了・消火

●調理終了30秒前になると「ピピッ・ピピッ…」と12回ブザーが鳴ってお知らせすると同時に秒表示に変わります。

30秒後

●設定時間が終了すると「ピー・ピー…」と5回ブザーが鳴ってお知らせし、自動消火します。

カスタマイズ
カスタマイズ機能を使用してブザー音をメロディに変更することもできます。詳しくはカスタマイズ機能（25ページ）を参照ください。

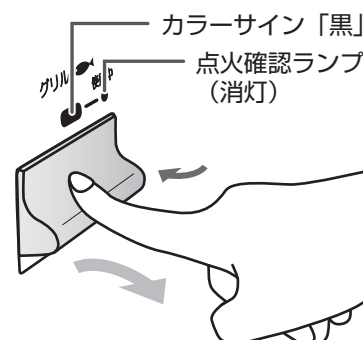
●点火確認ランプが消灯します。
●自動消火後、10秒後に表示は消灯します。

①自動消火後、操作ボタンを押して消火操作をする

●消火を確かめてください。

②ロックつまみを右に動かして操作ボタンをロックする

●小さなお子様のいたずら防止にご利用ください。

③ガス栓を閉め、庫内が冷えた後、グリル水入れ皿・焼網のお手入れをする

点検とお手入れ

⚠警告

■点検・お手入れする部品以外には機器に手を加えない

■分解したり、修理・改造を絶対にしない

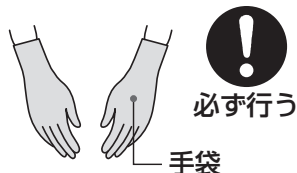
発火したり、異常作動してやけどやけがの原因になります。

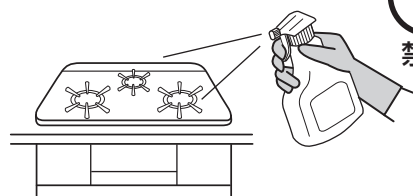
⚠注意

■機器を水につけたり、水をかけたりしない

不完全燃焼・故障のおそれがあります。

■点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う

手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをすることがあります。

■スプレー式の洗剤はスプレーで直接洗剤を機器にかけない

機器内部に洗剤が入ると、部品の作動不良や、腐食の原因になり、安全性を損なう可能性があります。使用する場合はスポンジや布に含ませてから使用してください。

おねがい

●点検とお手入れはガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
（機器が冷えるまで時間がかかります。）
●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店か当社フリーダイヤルにご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●安全にお使いいただくために定期的に点検を受けられることをおすすめします。（有償）

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

●機器のまわりに可燃物等はありませんか？
●各部品は正しくセットされていますか？
●乾電池は消耗していませんか？
●汚れていませんか？
●ガス臭くありませんか？

お手入れのしかた

●機器や取りはずした部品は落とさないように気を付けてください。けがや故障の原因になります。
●工具を使用しての分解は絶対にしないでください。次のお手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。異常作動や発火をしてけがの原因になります。
●お手入れの後は各部品が正しくセットされているか確認をしてください。（「設置について」13ページ参照）

おねがい

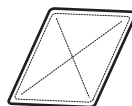
●汚れはそのつどお手入れしてください。そのままにしておくと、汚れが落ちにくくなり早くいたみます。
煮こぼれをした場合はそのつどお手入れしてください。煮こぼれしたまま放置すると故障の原因になります。

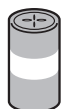
■お手入れの道具・使用する洗剤について

お手入れには台所用中性洗剤をお使いください。

洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。コンロのお手入れには、使用に適さない道具や洗剤があります。

○ 適しているもの

台所用 中性洗剤	やわらかい スポンジ	やわらかい 歯ブラシ	やわらかい布	メラミンフォーム スポンジ

× 適さないもの

シンナー・ ベンジン	酸性洗剤・漂白剤・ アルカリ性洗剤	みがき粉・ クレンザー	スポンジ 硬い面	ナイロン たわし	金属 たわし

- ●シンナー・ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤などは機器の損傷の原因になります。
- ●印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど硬いものを使用すると表面を傷付ける場合があります。
- ●スプレー式洗剤を使用する場合は、直接ふきかけるのではなく、スポンジなどに含ませてからご使用ください。

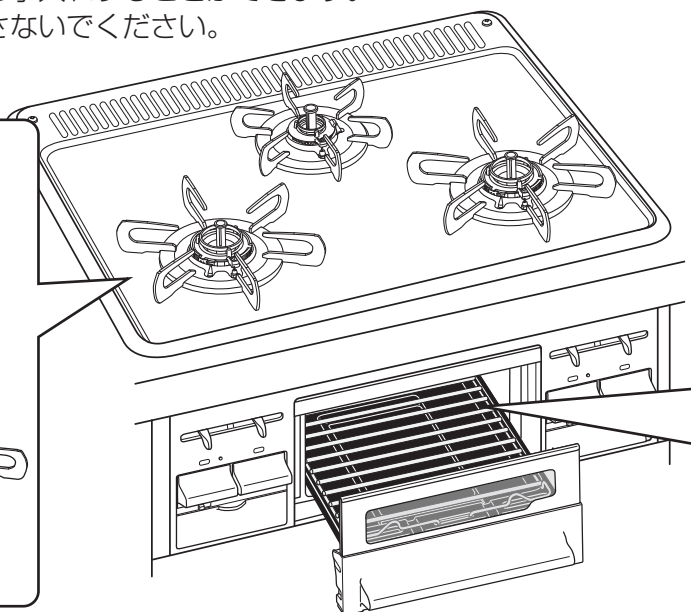
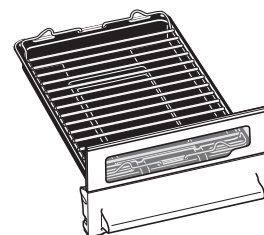
直接かけて使用してはいけないもの

スプレー式洗剤

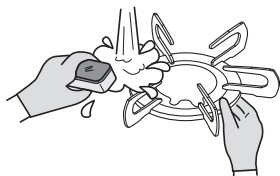
絶対に使用してはいけないもの

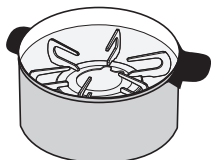
可燃性スプレー
浸透液
潤滑剤

■取り外すことのできる部品

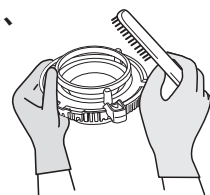
下記の部品は取り外してお手入れすることができます。
下記以外の部品は取り外さないでください。

点検とお手入れ

ごとく

台所用中性洗剤で水洗いし、水気をふき取る

汚れが落ちないとき

熱めのお湯をかけて浸し置きし、台所用中性洗剤で水洗いしてください。それでも汚れが落ちない場合は煮洗いしてください。

煮洗い：
なべに水を入れ、ごとくなどを沈めて火にかけます。沸騰した状態で20分ほど煮詰め、汚れが浮きだしたら火を止めて十分に冷やしたあとスポンジなどで水洗いします。

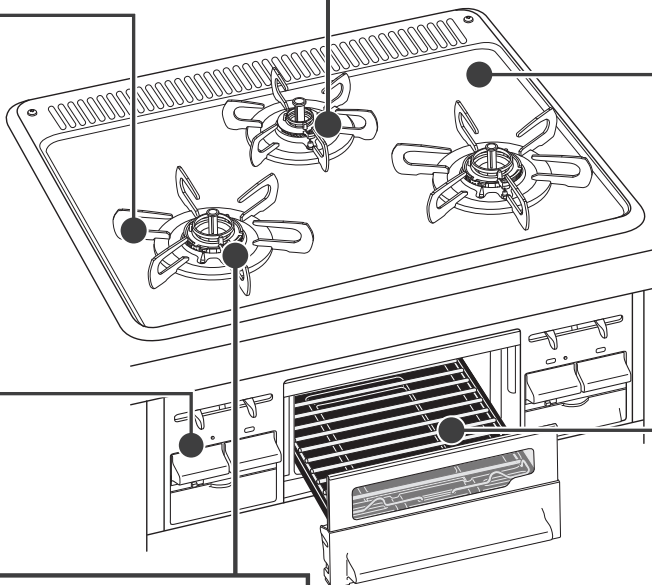
バーナキャップ

炎がふぞろいになったときは、穴やみぞを歯ブラシやつまようじなど先の細いものなどで掃除する

＊目づまりをすると点火不良や不完全燃焼の原因になります。

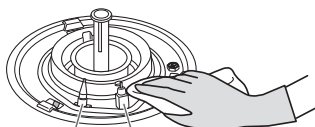
- 表側の黒い部分はスポンジなどのやわらかいもので台所用中性洗剤を使用して洗ってください。万一、黒い部分がはがれてもそのままお使いになれます。
- お手入れの後は浮き・傾きのないようにセットしてください。

機器前面・操作部

汚れたときは台所用中性洗剤を含ませたスポンジや布でふき取る

＊機器内部に洗剤や水気が残らないようにしてください。

炎検出部・電極

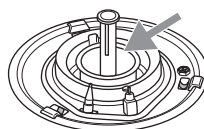
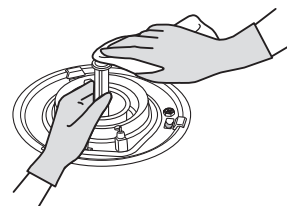
汚れや水気が付いたときはやわらかい布でふき取る

＊汚れや水気が付いていると点火しにくくなります。

おねがい

取り付け位置を動かしたり、キズを付けないでください。故障の原因になります。
先端がとがっています。けがをしないように注意してください。

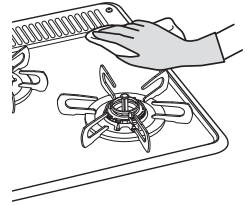
温度センサー

変形しないように温度センサーに片手を添えて水気を固くしぼった布で汚れをふき取る

＊汚れが付いていると温度センサーの感度が悪くなります。

温度センサーは側面の汚れもふき取ってください。

トッププレート

表面が汚れたら、そのつど中性洗剤（食器・野菜洗い用）や水を含ませたやわらかいスポンジ・布などで汚れをふき取り、その後、乾いたフキンなどで水気をふき取る

●焦げつきなどのひどい汚れは、液体（クリーム）クレンザーを、やわらかいスポンジや布につけてふき取ってください。

おねがい

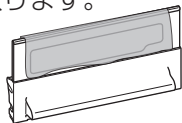
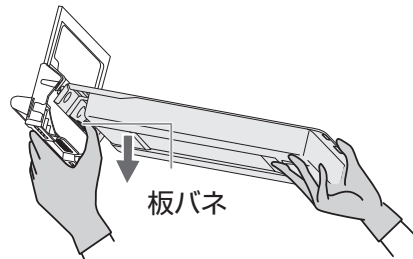
●トッププレートは機器本体にねじで固定されています。修理技術者以外の方は取りはずさないでください。
●ドライバーなど先の鋭いものや、みがき粉などは、トッププレートをキズつけますので使わないでください。
●機器内部に大量に煮こぼれした場合は点検が必要です。点検については最寄りの販売店または当社フリーダイヤルまでご依頼ください。

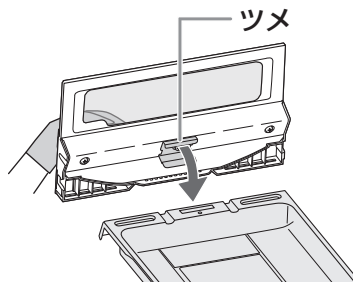
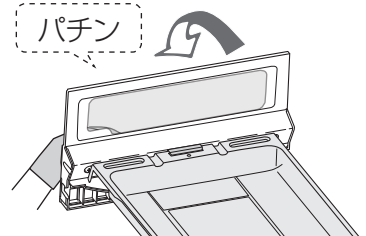
グリル扉

汚れたときはスポンジ、布などのやわらかいもので汚れをふき取る

●グリル扉は取りはずしてお手入れすることもできます。

汚れが落ちないとき

水で薄めた台所用中性洗剤で湿らせたキッチンペーパーを汚れが目立つ部分に湿布のように貼り付けます。
20分ほど置き、汚れが浮きあがってきたら水拭きし、汚れをふき取ります。

取りはずしかた

板バネを↓の方向に押してはずす

取り付けかた

①板バネのツメをグリル受け皿にはめ込む

②グリル取っ手をおこす
●「おす」表示の部分がはまり、固定されます。

おねがい

●グリル扉のガラスはみがき粉、金属たわしなどを使わないでください。ガラスが割れる原因になります。

グリル水入れ皿・焼網

お使いのたびに台所用中性洗剤で汚れを洗い流し、乾いた布で水気をふき取る

＊グリル水入れ皿は汚れたままお使いになると、こびりついた脂汚れが発火するおそれがあります。
●グリル水入れ皿とグリル扉は取りはずしてお手入れすることもできます。
（グリル扉の「取りはずしかた」「取り付けかた」を参照ください。）

故障かな？と思ったら

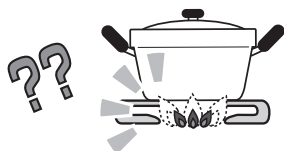
故障かな？と思ったら、次のことをお調べください。
下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

現　象	原　　因	処置方法	参照ページ
点火しない 点火しにくい 使用中に消火する	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	18/31
	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	13/40
	乾電池の取り付けが悪い	正しくセットする	13
	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	10/35
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14
	ごとくのセット不良	正しくセットする	14
	配管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	10/18/31
	点火操作が不適切	操作ボタンをいっぱいまで押しこむ	18/31
	炎検出部･電極が水ぬれしたり汚れている	炎検出部・電極のお手入れをする	35
	グリル庫内にアルミはく等のゴミが付着している	付着しているゴミを取り除く	─
	アルミはく製のしる受け皿を使っている	アルミはく製のしる受け皿を使わない	7
	LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	─
	温度センサーとなべ底が正しく接触していない	温度センサーとなべ底を正しく接触させる	11/16
	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する	39
電池交換サインが点灯する	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	13/40
ブザー(ピー)が鳴り エラーコードが点滅する	安全装置が作動した	安全装置が作動したときの処置方法を参照する(エラーコードは15分間点滅)	39
黄色の炎で燃える 炎が安定しない 異常な音をたてて燃える	バーナ炎口の水滴や汚れによる目づまり	バーナキャップのお手入れをする	10/35
	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14
	ごとくのセット不良	正しくセットする	14
ガスのいやな臭いがする	バーナキャップのセット不良	正しくセットする	14

●次のような場合は故障ではありません。

故障ではない場合	理　　由
点火･消火のときに「ボッ」という音がする	点火時、消火時に「ボッ」という音がする場合がありますが、異常ではありません。
使用中「シャー」という音がする	燃焼中のガスの通過音です。異常ではありません。 ※万が一ガス臭い場合は、使用を停止してください。
コンロを使用中「カチッ」という音がする	火力を調節するときの機器の音で、異常ではありません。
グリル使用時にコンロを使用すると、炎の色が変わる	グリル使用時にコンロを使用すると、焼物の塩分などが燃えて炎の色が変わることがありますが異常ではありません。
赤色の炎で燃える	加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムにより炎が赤くなることがありますが、異常ではありません。
使用中、弱火になる／火力が変化する コンロを使用中、強火⇔弱火をくり返す	なべなどの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。 （17ページ参照）
再点火してもすぐ弱火になる	なべの異常過熱を防止する機能が働いたためで、異常ではありません。 しばらく待ってから再点火してください。（17ページ参照）
グリル扉がはずれた	お手入れのために、グリル扉は取りはずせるようになっています。 （取り付けかた「点検とお手入れ」36ページ参照）

よくあるご質問

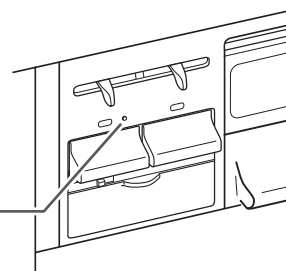
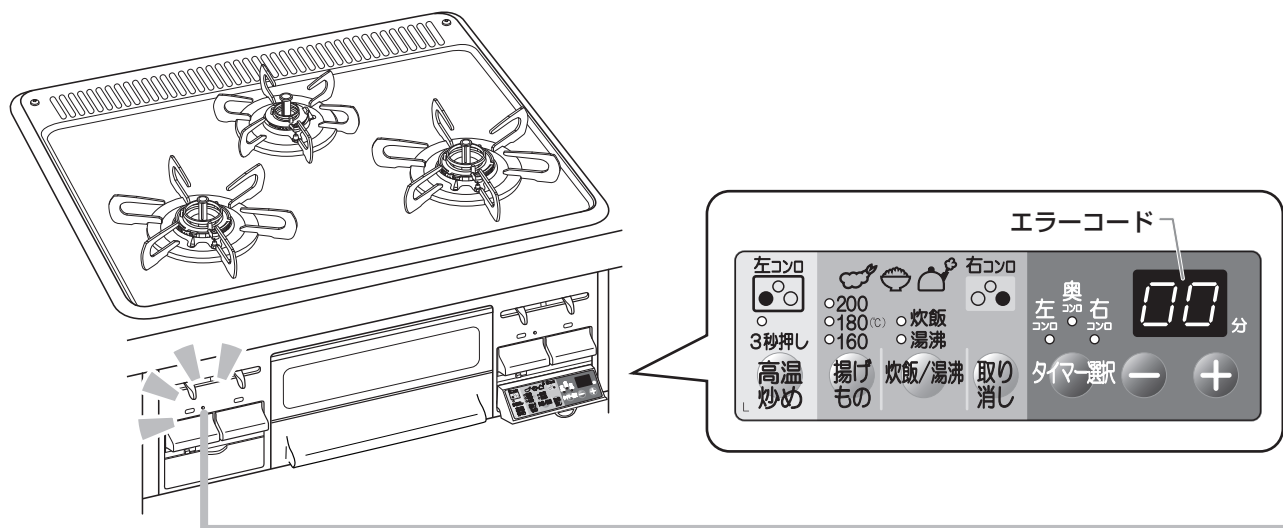
Q：調理中に勝手に
　火力が小さくなったり、
　大きくなったりする

A：なべなどの異常過熱を防止する機能がはたらいたためで、
　故障ではありません。（17ページ参照）
　なべの温度が安全な温度まで下がると再び強火
　（もとの火力）に戻ります。

※この状態が約30分以上続いた場合、または弱火状態でもさらに高い温度になった場合は自動消火します。

Q：点火操作をしても
　火がつかない
　または、手を離すと
　消火する

電池ケースの上にある「電池交換サイン」が点灯 -☀- している

A：乾電池が消耗しています。（40ページ参照）
　乾電池を交換してください。（13ページ参照）
　乾電池の交換の目安は約１年です。

火がつかなくなったときは「電池交換サイン」を確認してください。

■安全装置について

安全装置が働くと“ピー”とブザーが鳴りお知らせします。
エラーコードが表示されたら、下記の処置方法に従って処置をしてください。

●下記以外のエラーコードが表示された場合は、使用を中止しガス栓を閉じた後、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまで、点検・修理を依頼してください。このとき作業を円滑に行うために「エラーコード」と「発生部位」の表示をお知らせください。

＊エラーコードは「00」「02」等の2桁の数字と発生部位の「　0」「　1」等の1桁の数字が交互に表示されます。

エラーコード	安全装置	部位	機能説明
11	不着火異常	コンロ グリル	点火時に、バーナに着火しなかった場合にお知らせします。
12	立消え 安全装置	コンロ グリル	風や煮こぼれなどで炎が消えたときに自動的にガスを止めます。
00	消し忘れ 消火機能	コンロ	万一の消し忘れのために、点火後、コンロは約120分※経過すると自動消火します。（すべてのコンロ） また高温状態で温度変化のないとき(使用中、強火⇔弱火を繰り返しているとき)は約30分※経過すると自動消火します。（左右コンロのみ） ※時間に関してはそれぞれカスタマイズ機能（25ページ）で変更している場合があります。
02	天ぷら油 過熱防止機能	コンロ	調理油が過熱による発火をする前に自動消火します。
	焦げつき 消火機能	コンロ	煮物等の調理中になべ底が焦げつき始めたら、自動消火します。 ※高温炒め機能設定時は除く

■乾電池の交換について

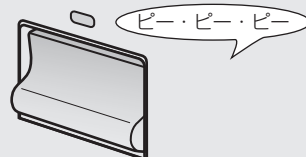
電池交換サインが点灯　＝　乾電池の消耗

使用時に電池交換サインが点灯したときは、乾電池が消耗していますので、新しいアルカリ乾電池（単1形1.5V 2個）と交換してください。（「設置について　乾電池の交換方法」13ページ）交換せずにそのままにしておくと機器が使用できなくなります。

●乾電池が消耗してくると安全装置が作動しなくなるので、操作ボタンを押したとき点火していても、安全のため、手を離すと消火するようになります。操作ボタンを押し続ければ点火していますが故障の原因となりますのでおやめください。
●乾電池が完全に消耗したときは、電池交換サインの点灯もしなくなります。

処置方法（消火に気付いたときは…）
すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。 その後、再点火してください。
すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。 炎が消えてからガスが止まるまでしばらく時間がかかります。 再点火するときは周囲にガスがなくなるのを待ってください。
すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。
すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。 再点火する場合は、少し時間をおいてから（油の温度が適温になるまでそのままお待ちいただいた後）点火操作してください。 ＊なべや調理によっては途中で消火する場合があります。
すぐに操作ボタンを押して消火状態にしてください。 再点火時は更に焦げつきやすくなりますので、ようすを見ながら調理してください。 ＊なべや調理によっては途中で消火する場合があります。

※操作ボタン戻し忘れのお知らせについて

安全装置が働き自動消火した場合は、操作ボタンを押し戻して消火操作をしてください。
そのまま操作ボタンを戻し忘れると、1分毎に"ピー・ピー・ピー”と3回ブザーが鳴りお知らせします。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

機器のガス栓を必ず閉めて、乾電池を取りはずしておいてください。
＊お手入れしておくと次回使用するときに便利です。（「点検とお手入れ」33ページ参照）

アフターサービスについて

■点検·修理を依頼されるとき

前ページ「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店か下記の修理受付フリーダイヤルまでご連絡ください。
★アフターサービスをお申しつけのときは右記の内容をお知らせください。

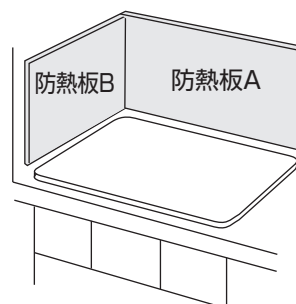
1.ご住所·ご氏名·電話番号
2.現象（できるだけ詳しく）
3.品番·器具名（銘板表示のもの）
4.ご購入日·ガス種
5.道順·目標

フリーダイヤル® 0120−557−910
◎受付時間／9：00〜18：00
（土日祝、夏期・年末年始休業日を除く）

■別売部品のごあんない

次のような別売部品を用意しております。
防熱板は「設置について」を見て、取り付けかたを確認してください。
詳細はお買い上げの販売店までおたずねください。

炊飯専用鍋
３合炊きと５合炊きをご用意しています。

取り出しフォーク
魚などが身くずれすることなく簡単に取り出せます。

■補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は当製品製造打ち切り後、5年間保有しております。
バーナキャップ、ごとく等が長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。
お買い求めの際は、必ず銘板の器具名（5ページ）をお知らせください。

■ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有償となります。

■その他ご不明の点は

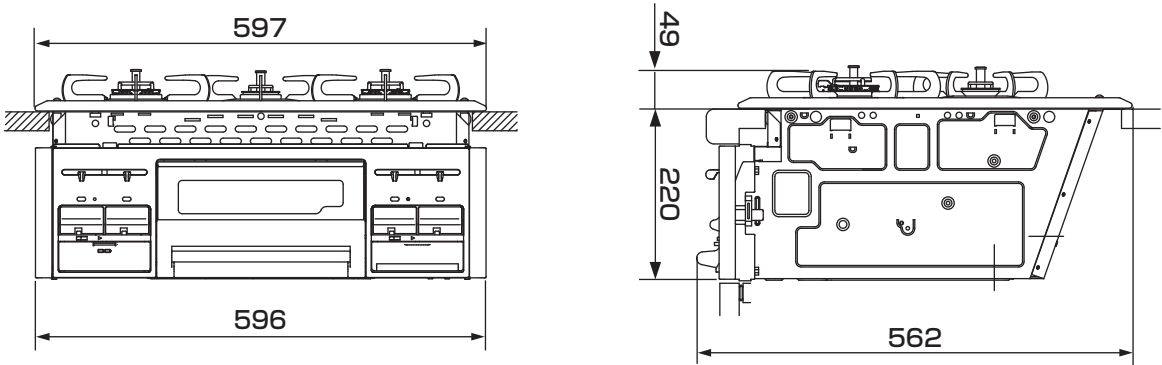
お買い上げの販売店か当社フリーダイヤルまでご連絡ください。

仕 様

品　番	T33A60・T33AV60
器 具 名	T33A60・T33AV60
形式の呼び	E3-4-17
種　類	組込形ガスグリル付　3口こんろ
点火方式	連続放電点火
外形寸法（機器最大）	高さ269×幅597×奥行562mm
質量（本体）	15.8Kg
ガス接続	Rc1/2（メネジ）
安全装置	立消え安全装置・調理油過熱防止装置（天ぷら油過熱防止機能） 焦げつき消火機能・消し忘れ消火機能・グリル排気口遮炎装置

使用ガス ガスグループ		ガス消費量　kW				
		標準バーナ	強火力バーナ	小バーナ	グリル	全点火時
都市ガス用	12A	2.76	3.93	1.22	1.53	8.60
	13A	2.95	4.20	1.30	1.60	9.20
LPガス用		2.95	4.20	1.30	1.60	9.20

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

外形寸法図（単位:mm）

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から１年間とし、機器本体を対象とします。
　保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3．ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、
　当社までご相談ください。
4．本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
5．保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理いたします。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災、水害、地震、落雷、異常気象、その他天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）ほこり・ねずみ・くも・昆虫類の侵入による故障および損傷。
（ヘ）本書にお買い上げ年月日、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（ト）指定外の燃料、電源の使用による故障および損傷。
（チ）ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
（リ）設置説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
（ヌ）本書の提示がない場合。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	年　　　月　　　日

販売店名		扱者印	
住　　所			
電話番号			

お客様へ
この保証書をお受け取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

タカラスタンダード株式会社

〒536-8536　大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL．代表 06(6962)1531

38618820002

24．8．② KI 38 61882